

PAT-NO: JP02002207805A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002207805 A
TITLE: SALES SYSTEM AND SELLING METHOD
PUBN-DATE: July 26, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAMIYA, HIROMI	N/A
SONE, HIROSHI	N/A
FURUYA, TAKEHIRO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HEART TO HEART:KK	N/A

APPL-NO: JP2001004729

APPL-DATE: January 12, 2001

INT-CL (IPC): G06F017/60, G07G001/00 , G07G001/12

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the number of paper bags or vinyl bags to be provided to consumers.

SOLUTION: In the case of executing advertisement 11, reading a bar code 12 from a bag 1 having the bar code 12 as an inherent identifier and selling or providing a prescribed commodity or service related to an advertiser of the advertisement 11, a prescribed discount rate or discount amount corresponding to the read bar code 12 is read from a storage means 31 and the price of the commodity or service is calculated based on the discount

rate or discount
amount. When a bag owner carries the bag 1 on him for
shopping or the like in
order to get price discount, the advertiser can expect an
advertisement effect,
a store 2 eliminates the necessity of providing paper bags
or vinyl bags and
the quantity of garbage can be reduced.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-207805

(P2002-207805A)

(43) 公開日 平成14年7月26日 (2002.7.26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード (参考)
G 0 6 F 17/60	1 1 8	G 0 6 F 17/60	1 1 8
	Z A B		3 E 0 4 2
	3 2 4		Z A B
	3 2 6		3 2 4
	3 3 2		3 2 6
			3 3 2

審査請求 未請求 請求項の数43 O L (全 26 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-4729(P2001-4729)

(22) 出願日 平成13年1月12日 (2001.1.12)

(71) 出願人 501016858

有限会社ハート・トゥ・ハート

東京都新宿区北新宿1丁目7番18号

(72) 発明者 神谷 弘美

東京都渋谷区神泉町7丁目10番富士ビル
301号

(72) 発明者 曾根 宏旨

東京都渋谷区神泉町7丁目10番富士ビル
301号

(74) 代理人 100087859

弁理士 渡辺 秀治 (外1名)

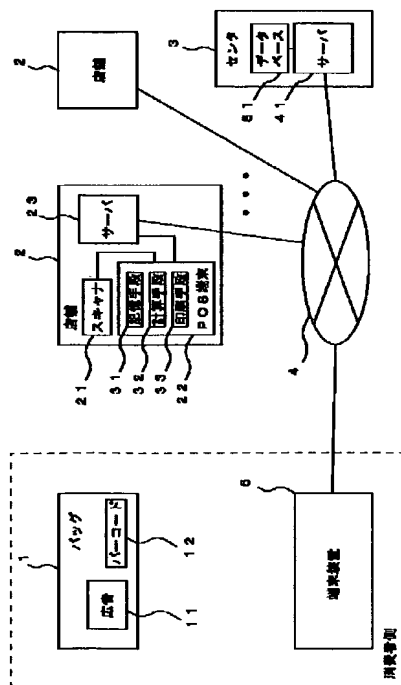
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 販売システムおよび販売方法

(57) 【要約】

【課題】 消費者に提供される紙袋やビニール袋などの数量を低減すること。

【解決手段】 広告11が施され、固有の識別子としてのバーコード12を有するバッグ1から、このバーコード12を読み取り、この広告11の広告主に関連する所定の商品またはサービスを販売または提供する際に、読み取ったバーコード12に対する所定の割引率または割引率を記憶手段31から読み出し、この割引率または割引額に基づいて商品またはサービスの代金を計算する。これにより、バッグ所有者が代金を割り引いてもらうためにバッグ1を買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗2は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告を施されたバッグと、

上記広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスの割引率または割引額を記憶する記憶手段と、

上記広告主が指定した商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスを、上記バッグの使用者に販売または提供する際に、上記記憶手段から上記割引率または上記割引額を読み出し、この割引率または割引額に基づいて上記商品またはサービスの代金を計算する計算手段と、

を備えることを特徴とする販売システム。

【請求項2】 広告を施され、固有の識別子を有するバッグと、

上記識別子を上記バッグから読み取る読取手段と、

上記広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスの割引率または割引額を上記バッグの識別子に関連付けて記憶する記憶手段と、

上記広告主が指定した所定の商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスを、上記バッグの使用者に販売または提供する際に、上記読取手段により読み取られた上記識別子に対する上記割引率または上記割引額を上記記憶手段から読み出し、この割引率または割引額に基づいて上記商品またはサービスの代金を計算する計算手段と、

を備えることを特徴とする販売システム。

【請求項3】 前記計算手段は、同一のバッグでの販売回数および／または提供回数に応じて、前記割引率または前記割引額を変更することを特徴とする請求項2記載の販売システム。

【請求項4】 広告を施されたバッグと、

上記広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスを、上記バッグの使用者に販売または提供する際に、この所定の商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算する計算手段と、

上記計算手段により計算された上記ポイントデータを記憶する得点記憶手段と、

を備えることを特徴とする販売システム。

【請求項5】 広告を施され、固有の識別子を有するバッグと、

上記識別子を上記バッグから読み取る読取手段と、

上記広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスのリストを上記バッグの識別子に関連付けて記憶する記憶手段と、

上記バッグを有する者に商品またはサービスを販売または提供する際に、販売または提供する上記商品またはサ

ービスのうち、前記読取手段により読み取られた上記識別子に対して上記記憶手段に記憶された上記リストに登録されている商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算する計算手段と、

上記計算手段により計算された上記ポイントデータを記憶する得点記憶手段と、

を備えることを特徴とする販売システム。

【請求項6】 前記ポイントデータを、前記バッグの所有者ごとに累積することを特徴とする請求項5記載の販売システム。

【請求項7】 前記識別子が1つ1つの前記バッグごとに異なる場合にはその識別子ごとに、前記識別子が前記バッグの種類ごとに共通である場合には他の識別情報および識別子ごとに、前記ポイントデータを累積することを特徴とする請求項5または請求項6記載の販売システム。

【請求項8】 前記計算手段は、前記ポイントデータの一部または全部に対応する金額を、販売または提供する前記商品またはサービスの代金から減額し、この一部または全部のポイントデータを前記得点記憶手段に記憶されたポイントデータから減算すること、

を特徴とする請求項5から請求項7のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項9】 所定の商品および／またはサービスを呈示する呈示手段と、上記呈示手段により呈示された上記所定の商品および／またはサービスのうち、前記バッグの所有者により選択された商品および／またはサービスに対応する点数のポイントデータを、前記得点記憶手段に記憶されたポイントデータから減算し、前記得点記憶手段に記憶されたポイントデータを更新する第2の計算手段とを備えること、

を特徴とする請求項5から請求項7のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項10】 前記読取手段と、前記計算手段と、前記計算手段により計算された前記ポイントデータを送信する送信手段とをそれぞれ有する1または複数の店舗、および、上記店舗にネットワークを介して接続し、このネットワークを介してデータを受信する受信手段と、前記得点記憶手段とを有するセンタを備え、

上記店舗の上記送信手段は、前記ポイントデータを送信し、

上記センタの上記受信手段は、このポイントデータを受信し、

上記センタの前記得点記憶手段は、上記受信手段により受信されたポイントデータを記憶すること、

を特徴とする請求項5から請求項9のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項11】 前記店舗の前記送信手段は、前記ポイントデータとともに、前記読取手段により読み取られた前記バッグの識別子の情報を送信し、

10

20

30

40

50

前記センタの前記受信手段は、前記ポイントデータとともに、前記バッグの識別子の情報を受信し、
前記センタの前記得点記憶手段は、前記受信手段により受信されたポイントデータを、前記識別子に関連付けて記憶すること、

を特徴とする請求項10記載の販売システム。

【請求項12】 前記バッグの所有者を、この所有者の所有する前記バッグの識別子に関連付けて登録する登録手段を前記センタに備えることを特徴とする請求項11記載の販売システム。

【請求項13】 前記受信手段は、前記バッグの所有者が端末装置に対して入力したこの所有者の識別情報を前記ネットワークを介して受信し、
前記登録手段は、前記受信手段により受信された上記識別情報に基づいて、前記バッグの所有者を登録すること、

を特徴とする請求項12記載の販売システム。

【請求項14】 前記受信手段は、前記バッグの所有者が端末装置に対して入力した前記バッグの識別子の情報を前記ネットワークを介して受信し、
前記登録手段は、前記受信手段により受信された前記バッグの識別子の情報に基づいて、この識別子およびこの識別子に関連付けられたポイントデータを、この所有者の登録データに関連付けること、
を特徴とする請求項12または請求項13記載の販売システム。

【請求項15】 前記バッグの識別子の情報をレシートに印刷する印刷手段を前記店舗に備えることを特徴とする請求項14記載の販売システム。

【請求項16】 前記バッグの所有者が前記センタにアクセスする際に、前記識別情報に基づいて、このバッグの所有者を認証することを特徴とする請求項13から請求項15のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項17】 前記バッグの所有者が前記センタにアクセスする際に、このバッグの所有者が未登録である場合には、前記バッグの識別子の情報のみでこのバッグの所有者を認証することを特徴とする請求項13から請求項16のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項18】 前記店舗は、バッグの提供時に、そのバッグの所有者の初期識別子の発行要求を前記センタへ送信し、

前記センタは、上記初期識別子の発行要求を受信すると、固有の初期識別子を生成し、

前記センタは、前記バッグの所有者を登録するまでの期間、上記初期識別子とこのバッグの識別子と、このバッグの識別子に関連付けられたポイントデータとを関連付けて記憶すること、

を特徴とする請求項10から請求項16のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項19】 前記センタは、生成した前記初期識別

子を前記店舗に送信し、

前記店舗は、この初期識別子を受信し、前記バッグの識別子の情報とともに、この初期識別子の情報をレシートに印刷すること、

を特徴とする請求項18記載の販売システム。

【請求項20】 前記バッグの所有者が前記センタにアクセスする際に、このバッグの所有者が未登録である場合には、前記初期識別子および前記バッグの識別子の情報でこのバッグの所有者を認証することを特徴とする請求項18または請求項19記載の販売システム。

【請求項21】 登録済みの前記バッグの所有者が操作する端末装置に、前記ネットワークを介して、この所有者の所有するすべての前記バッグに対するポイントデータの合計および/または各バッグに対するポイントデータを送信するポイントデータ送信手段を前記センタに備えることを特徴とする請求項12から請求項20のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項22】 前記受信手段は、登録済みの前記バッグの所有者が操作する端末装置から、バッグの登録抹消要求を前記バッグの識別子の情報とともに受信し、
前記登録手段は、前記バッグの登録抹消要求とともに受信された前記バッグの識別子の情報に対応する前記バッグの識別子およびこれに関連付けられたポイントデータを抹消すること、

を特徴とする請求項12から請求項21のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項23】 抹消した前記ポイントデータを、他のバッグの識別子に関連付けられたポイントデータに加算することを特徴とする請求項22記載の販売システム。

【請求項24】 前記センタは、登録済みの前記バッグの所有者が操作する端末装置から、ポイントデータ振替要求を、振替ポイント数、振替元の前記バッグの識別子の情報および振替先の前記バッグの識別子の情報とともに受信すると、上記振替元の前記バッグの識別子に関連付けられたポイントデータから上記振替ポイント数を減算し、上記振替先の前記バッグの識別子に関連付けられたポイントデータに上記振替ポイント数を加算することを特徴とする請求項12から請求項23のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項25】 所有者の識別情報を有する携帯型記憶媒体と、前記店舗に設置され、上記携帯型記憶媒体から上記所有者の識別情報を読み出すリーダとを備え、
前記店舗の前記送信手段は、前記ポイントデータとともに、上記所有者の識別情報を送信し、

前記センタの前記受信手段は、このポイントデータおよび上記所有者の識別情報を受信し、
前記センタの前記得点記憶手段は、前記受信手段により受信されたポイントデータを上記所有者の識別情報に関連付けて記憶すること、

を特徴とする請求項10記載の販売システム。

【請求項26】 前記得点記憶手段としての携帯型記憶媒体に対して前記ポイントデータの読み書きを実行するリーダライタを備えることを特徴とする請求項4から請求項9のうちのいずれか1項記載の販売システム。

【請求項27】 バッグに施された広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスを上記バッグの使用者に販売または提供する際に、記憶手段から所定の割引率または割引額を読み出すステップと、この割引率または割引額に基づいて上記商品またはサービスの代金を計算するステップと、を備えることを特徴とする販売方法。

【請求項28】 広告を施され固有の識別子を有するバッグから、上記識別子を読み取るステップと、上記広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスを、上記バッグの使用者に販売または提供する際に、読み取った上記識別子に対する所定の割引率または割引額を記憶手段から読み出すステップと、この割引率または割引額に基づいて上記商品またはサービスの代金を計算するステップと、を備えることを特徴とする販売方法。

【請求項29】 同一のバッグでの販売回数および/または提供回数に応じて、前記割引率または前記割引額を変更することを特徴とする請求項28記載の販売方法。

【請求項30】 バッグに施された広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、上記広告主に関連する所定の商品またはサービスを、上記バッグの使用者に販売または提供する際に、この所定の商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算するステップと、計算した上記ポイントデータを得点記憶手段に記憶するステップと、を備えることを特徴とする販売方法。

【請求項31】 広告を施され固有の識別子を有するバッグから、上記識別子を読み取るステップと、上記バッグを有する者に商品またはサービスを販売または提供する際に、読み取った上記識別子に対応して予め設定されている、上記広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは上記広告の広告主に関連する所定の商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算するステップと、計算した上記ポイントデータを得点記憶手段に記憶するステップと、を備えることを特徴とする販売方法。

【請求項32】 前記ポイントデータを、前記バッグの所有者ごとに累積することを特徴とする請求項31記載の販売方法。

【請求項33】 前記識別子が1つ1つの前記バッグごとに異なる場合にはその識別子ごとに、前記識別子が前

記バッグの種類ごとに共通である場合には他の識別情報および識別子ごとに、前記ポイントデータを累積することを特徴とする請求項31または請求項32記載の販売方法。

【請求項34】 商品および/またはサービスを販売または提供する1または複数の店舗からネットワークを介して前記ポイントデータを送信し、このポイントデータを上記センタで受信し、上記センタの前記得点記憶手段に、受信した上記ポイントデータを記憶すること、を特徴とする請求項31から請求項33のうちのいずれか1項記載の販売方法。

【請求項35】 前記ポイントデータとともに、読み取った前記バッグの識別子の情報を前記店舗から送信し、前記ポイントデータとともに、前記バッグの識別子の情報を前記センタで受信し、前記センタの前記得点記憶手段に、受信した前記ポイントデータを前記識別子に関連付けて記憶すること、を特徴とする請求項34項記載の販売方法。

【請求項36】 前記バッグの所有者を、この所有者の所有する前記バッグの識別子に関連付けて前記センタに登録することを特徴とする請求項35記載の販売方法。

【請求項37】 前記店舗で、前記バッグの識別子の情報をレシートに印刷することを特徴とする請求項36記載の販売方法。

【請求項38】 前記店舗でのバッグの提供時に、この店舗からこのバッグの所有者の初期識別子の発行要求を前記センタへ送信し、前記センタが上記初期識別子の発行要求を受信すると固有の初期識別子を生成し、前記バッグの所有者が前記センタに登録されるまでの期間、上記初期識別子とこのバッグの識別子と、このバッグの識別子に関連付けられたポイントデータとを関連付けて記憶すること、を特徴とする請求項34から請求項37のうちのいずれか1項記載の販売方法。

【請求項39】 登録済みの前記バッグの所有者が操作する端末装置に、前記ネットワークを介して、この所有者の所有するすべての前記バッグに対するポイントデータの合計および/または各バッグに対するポイントデータを前記センタから送信することを特徴とする請求項36から請求項38のうちのいずれか1項記載の販売方法。

【請求項40】 登録済みの前記バッグの所有者が操作する端末装置から、バッグの登録抹消要求を前記バッグの識別子の情報とともに受信すると、前記バッグの登録抹消要求とともに受信された前記バッグの識別子の情報に対応する前記バッグの識別子およびこれに関連付けられたポイントデータを前記センタで抹消すること、を特徴とする請求項36から請求項39のうちのいずれ

か1項記載の販売方法。

【請求項41】登録済みの前記バッグの所有者が操作する端末装置から、ポイントデータ振替要求を、振替ポイント数、振替元の前記バッグの識別子の情報および振替先の前記バッグの識別子の情報とともに前記センタで受信し、

上記振替元の前記バッグの識別子に関連付けられたポイントデータから上記振替ポイント数を減算し、上記振替先の前記バッグの識別子に関連付けられたポイントデータに上記振替ポイント数を加算すること、

を特徴とする請求項36から請求項40のうちのいずれか1項記載の販売方法。

【請求項42】商品および／またはサービスの販売または提供の際に、前記店舗で、携帯型記憶媒体から所有者の識別情報を読み出し、

前記店舗から、前記ポイントデータとともに、上記所有者の識別情報を送信し、

このポイントデータおよび上記所有者の識別情報を前記センタで受信し、

前記センタの前記得点記憶手段に、受信した前記ポイントデータを上記所有者の識別情報に関連付けて記憶すること、

を特徴とする請求項34記載の販売方法。

【請求項43】前記得点記憶手段としての携帯型記憶媒体に前記ポイントデータを書き込むことを特徴とする請求項30から請求項33のうちのいずれか1項記載の販売方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、紙袋やビニール袋などのバッグを利用する販売システムおよび販売方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】商品やサービスの販売者または提供者が商品やサービスの広告をする場合、各種媒体や看板が使用されたり、街頭でノベルティ商品を頒布したりする。

【0003】一方、店舗で商品を販売したり、サービスを提供したりする場合、POS(Point Of Sales)システムなどの一貫として、商品や金額表などに印刷されたり貼り着けられたりしたバーコードなどの識別子を、スキヤナなどの読取手段により読み込み、その識別子に対して予め登録されている商品情報や価格などを読み出し、POS端末で請求金額の合計を計算し、表示する。

【0004】また、各種業界において、系列店舗だけで使用可能なポイントカードを各消費者に発行して、各消費者の購買金額に対応するポイントをそのポイントカードに累積記録していき、その系列店舗のみでそのポイントを代金の一部または全部の代わりに使用することができるポイントサービスが実用化されている。

【0005】他方、近年、環境問題が深刻になりつつあ

り、例えば、店舗で商品を入れるために、消費者に提供される紙袋やビニール袋などは、各家庭で再利用されることもあるが、結局のところゴミとして廃棄されることが多い。このような消費者に提供される紙袋やビニール袋などに課税してこれらを減量するという試みも提案されているが、その場合には、消費者、商品の製造者、店舗経営者などへの負担が増すことになる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】以上のように、従来の販売方法では、消費者に提供される紙袋やビニール袋などが結局のところゴミとなり、ゴミの増量の一大因になっている。また、課税などによりゴミを減量化する場合には、消費者、商品の製造者、店舗経営者などに何らの利益もなく、単にこれらの人々への負担が増すことになる。

【0007】本発明は、上記の課題を鑑みてなされたものであり、消費者、商品の製造者、店舗経営者などへの負担が単に増すことなく、紙袋やビニール袋などのバッグの再利用を図り、ゴミの減量化に貢献する販売システムおよび販売方法を得ることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、本発明の販売システムは、広告を施されたバッグと、広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスの割引率または割引額を記憶する記憶手段と、その広告主が指定した商品またはサービス、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスを、そのバッグの使用者に販売または提供する際に、記憶手段から割引率または割引額を読み出し、この割引率または割引額に基づいてその商品またはサービスの代金を計算する計算手段とを備えている。

【0009】この販売システムを利用すると、バッグ所有者が代金を割り引いてもらうためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0010】また、本発明の販売システムは、広告を施され、固有の識別子を有するバッグと、その識別子をバッグから読み取る読取手段と、広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスの割引率または割引額をバッグの識別子に関連付けて記憶する記憶手段と、その広告主が指定した所定の商品またはサービスを、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスを、バッグの使用者に販売または提供する際に、読取手段により読み取られた識別子に対する割引率または割引額を記憶手段から読み出し、この割引率または割引額に基づいてその商品またはサービスの代金を計算する計算手段とを備えている。

【0011】この販売システムを利用すると、バッグ所有者が代金を割り引いてもらうためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0012】本発明の販売システムは、上記発明の販売システムに加え、計算手段が、同一のバッグでの販売回数または提供回数に応じて、割引率または割引額を変更するようにしたものである。

【0013】この販売システムを利用すると、より有利な割引率または割引額を適用されるために消費者の購買意欲を増すことができ、ひいてはこのバッグがより使用され、よりゴミの減量化を図ることができる。

【0014】本発明の販売システムは、広告を施されたバッグと、その広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスをバッグの使用者に販売または提供する際に、この所定の商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算する計算手段と、計算手段により計算されたポイントデータを記憶する得点記憶手段とを備えている。

【0015】この販売システムを利用すると、バッグ所有者が、後で代金の一部または全部として使用できるポイントを獲得するためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0016】本発明の販売システムは、広告を施され、固有の識別子を有するバッグと、その識別子をバッグから読み取る読取手段と、その広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスのリストをバッグの識別子に関連付けて記憶する記憶手段と、バッグを有する者に商品またはサービスを販売または提供する際に、販売または提供する商品またはサービスのうち、読取手段により読み取られた識別子に対して記憶手段に記憶されたリストに登録されている商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算する計算手段と、計算手段により計算されたポイントデータを記憶する得点記憶手段とを備えている。

【0017】この販売システムを利用すると、バッグ所有者が、後で代金の一部または全部として使用できるポイントを獲得するためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0018】本発明の販売システムは、上記発明の販売システムに加え、ポイントデータを、バッグの所有者ごとに累積するようにしたものである。

【0019】この販売システムを利用すると、バッグの

所有者ごとにポイントデータを管理することができる。

【0020】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、識別子が1つ1つのバッグごとに異なる場合にはその識別子ごとに、識別子がバッグの種類ごとに共通である場合には他の識別情報および識別子ごとに、ポイントデータを累積するようにしたものである。

【0021】この販売システムを利用すると、バッグごとにポイントデータを管理することができる。

10 【0022】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、計算手段が、ポイントデータの一部または全部に対応する金額を、販売または提供する商品またはサービスの代金から減額し、この一部または全部のポイントデータを得点記憶手段に記憶されたポイントデータから減算するようにしたものである。

【0023】この販売システムを利用すると、ポイントデータを代金の一部または全部として代金を支払うことができる。

20 【0024】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、さらに、所定の商品および／またはサービスを呈示する呈示手段と、呈示手段により呈示された所定の商品および／またはサービスのうち、バッグの所有者により選択された商品および／またはサービスに対応する点数のポイントデータを、得点記憶手段に記憶されたポイントデータから減算し、得点記憶手段に記憶されたポイントデータを更新する第2の計算手段とを備えている。

30 【0025】この販売システムを利用すると、ポイントデータで商品やサービスを取得／享受することができる。

40 【0026】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、読取手段と、計算手段と、計算手段により計算されたポイントデータを送信する送信手段とをそれぞれ有する1または複数の店舗、および、この店舗にネットワークを介して接続し、このネットワークを介してデータを受信する受信手段と、得点記憶手段とを有するセンタを備え、店舗の送信手段がポイントデータを送信し、センタの受信手段がこのポイントデータを受信し、センタの得点記憶手段が受信手段により受信されたポイントデータを記憶するようにしたものである。

【0027】この販売システムを利用すると、センタで一元的にポイントデータを管理することができ、各店舗ごとにポイントデータを管理する必要がなくなる。

50 【0028】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、店舗の送信手段が、ポイントデータとともに、読取手段により読み取られたバッグの識別子の情報を送信し、センタの受信手段が、そのポイントデータとともに、そのバッグの識別子の情報を受信し、センタの得点記憶手段が、受信手段により受信されたポイントデータを、その識別子に関連付けて記憶するように

したものである。

【0029】この販売システムを利用すると、センタで一元的に、バッグの識別子ごとに、すなわちバッグごとにポイントデータを管理することができる。例えば異なる店舗で同一のバッグを使用しても、異なる店舗で発生したポイントが同一のバッグについて累積することができ、複数の店舗でバッグを使用しても、同一の店舗でバッグを使用した場合と同様に、センタでポイントデータを管理することができる。

【0030】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、バッグの所有者を、この所有者の所有するバッグの識別子に関連付けて登録する登録手段をセンタに備えている。

【0031】この販売システムを利用すると、例えば複数のバッグを1人の所有者が所有する場合などでも、バッグの所有者ごとにポイントデータを管理することができ、バッグの所有者単位で、合計ポイントや所有するバッグの数などを把握することができる。

【0032】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、バッグの所有者が端末装置に対して入力したこの所有者の識別情報を受信手段がネットワークを介して受信し、登録手段が、受信手段により受信された識別情報に基づいてバッグの所有者を登録するようにしたものである。

【0033】この販売システムを利用すると、例えば自宅に設置されたパーソナルコンピュータなどの端末装置を操作して、バッグ所有者が都合のよい時に遠隔からセンタに自己を登録することができ、便利である。また、自宅の端末装置を操作する場合には、登録時に、入力した所有者名やパスワードなどを他人に盗み見られる可能性を低くすることができる。

【0034】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、バッグの所有者が端末装置に対して入力したバッグの識別子の情報を受信手段がネットワークを介して受信し、登録手段が、受信手段により受信されたバッグの識別子の情報に基づいて、この識別子およびこの識別子に関連付けられたポイントデータを、この所有者の登録データに関連付けるようにしたものである。

【0035】この販売システムを利用すると、この所有者の所有するバッグに、このバッグの識別子を有するバッグを追加することができ、バッグを取得した後に、別のバッグを取得した場合でも、所有者単位で一括して複数のバッグを管理することができる。

【0036】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、バッグの識別子の情報をレシートに印刷する印刷手段を店舗に備えている。

【0037】この販売システムを利用すると、バッグの識別子の情報に基づいてバッグを追加登録する際に、バッグの所有者はレシートを見ることでバッグの識別子の

情報を知ることができ、便利である。

【0038】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、バッグの所有者がセンタにアクセスする際に、識別情報に基づいて、このバッグの所有者を認証するようにしたものである。

【0039】この販売システムを利用すると、センタへの他人による不正アクセスを抑制することができる。

【0040】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、バッグの所有者がセンタにアクセスする際に、このバッグの所有者が未登録である場合には、バッグの識別子の情報のみでこのバッグの所有者を認証するようにしたものである。

【0041】この販売システムを利用すると、センタへの初期登録をバッグの所有者が自ら行うことができ、店舗などがバッグの所有者をセンタへ初期登録しなくても済む。

【0042】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、店舗が、バッグの提供時にそのバッグの所有者の初期識別子の発行要求をセンタへ送信し、センタがその初期識別子の発行要求を受信すると、固有の初期識別子を生成し、バッグの所有者を登録するまでの期間、その初期識別子とこのバッグの識別子と、このバッグの識別子に関連付けられたポイントデータとを関連付けて記憶するようにしたものである。

【0043】この販売システムを利用すると、初期識別子に関連付けられてポイントデータが保存されるため、バッグの所有者が後に、この初期識別子に基づいてこのポイントデータを管理/使用することができる。

【0044】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、センタが、生成した初期識別子を店舗に送信し、店舗が、この初期識別子を受信し、バッグの識別子の情報とともに、この初期識別子の情報をレシートに印刷するようにしたものである。

【0045】この販売システムを利用すると、消費者がバッグ取得時に、初期識別子を簡単に確認することができる。

【0046】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、バッグの所有者がセンタにアクセスする際に、このバッグの所有者が未登録である場合には、初期識別子およびバッグの識別子の情報でこのバッグの所有者を認証するようにしたものである。

【0047】この販売システムを利用すると、バッグ所有者のみがこの初期識別子を知り得るため、センタへの不正なアクセスを抑制することができる。

【0048】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、登録済みのバッグの所有者が操作する端末装置に、ネットワークを介して、この所有者の所有するすべてのバッグに対するポイントデータの合計および/または各バッグに対するポイントデータを送信するポイントデータ送信手段をセンタに備えている。

【0049】この販売システムを利用すると、バッグ所有者が端末装置を操作することで簡単に自己の獲得したポイントを確認することができる。

【0050】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、受信手段が、登録済みのバッグの所有者が操作する端末装置からバッグの登録抹消要求をバッグの識別子の情報とともに受信し、登録手段が、バッグの登録抹消要求とともに受信されたバッグの識別子の情報に対応するバッグの識別子およびこれに関連付けられたポイントデータを抹消するようにしたものである。

【0051】この販売システムを利用すると、不要になったバッグについてのセンタへの登録をバッグ所有者が抹消することができる。

【0052】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、抹消したポイントデータを、他のバッグの識別子に関連付けられたポイントデータに加算するようにしたものである。

【0053】この販売システムを利用すると、バッグの登録を抹消しても、そのバッグについてのポイントデータを失うことがない。

【0054】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、センタが、登録済みのバッグの所有者が操作する端末装置から、ポイントデータ振替要求を、振替ポイント数、振替元のバッグの識別子の情報および振替先のバッグの識別子の情報とともに受信すると、振替元のバッグの識別子に関連付けられたポイントデータから振替ポイント数を減算し、振替先のバッグの識別子に関連付けられたポイントデータに振替ポイント数を加算するようにしたものである。

【0055】この販売システムを利用すると、バッグ所有者が自己の所有する複数のバッグ間でポイントを振り替えることができ、便利である。例えば、あるバッグに対して割引率または割引額が設定されている高価格の商品を購入する際に、そのバッグに他のバッグからポイントを振り替えることにより、ポイントを有効に使用することができる。

【0056】本発明の販売システムは、上記発明の各販売システムに加え、所有者の識別情報を有する携帯型記憶媒体と、店舗に設置され携帯型記憶媒体から所有者の識別情報を読み出すリーダとを備え、店舗の送信手段がポイントデータとともに所有者の識別情報を送信し、センタの受信手段がこのポイントデータおよび所有者の識別情報を受信し、センタの得点記憶手段が受信手段により受信されたポイントデータを所有者の識別情報に関連付けて記憶するようにしたものである。

【0057】この販売システムを利用すると、同一種類のバッグ1の1つ1つに、異なる識別子を割り当てる必要がなくなり、バッグを大量生産する際のコストを低くすることができる。

【0058】本発明の販売システムは、上記発明の各販

売システムに加え、携帯型記憶媒体に対して情報の読み書きを実行するリーダライタを備え、携帯型記憶媒体として得点記憶手段を使用し、リーダライタがポイントデータを携帯型記憶媒体に書き込むようにしたものである。

【0059】この販売システムを利用すると、同一種類のバッグ1の1つ1つに、異なる識別子を割り当てる必要がなくなり、バッグを大量生産する際のコストを低くすることができる。

10 【0060】本発明の販売方法は、バッグに施された広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスをバッグの使用者に販売または提供する際に、記憶手段から所定の割引率または割引額を読み出すステップと、この割引率または割引額に基づいて商品またはサービスの代金を計算するステップとを備えている。

【0061】この販売方法を利用すると、バッグ所有者が代金を割り引いてもらうためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

20 【0062】本発明の販売方法は、広告を施され固有の識別子を有するバッグから、その識別子を読み取るステップと、その広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスをバッグの使用者に販売または提供する際に、読み取った識別子に対する所定の割引率または割引額を記憶手段から読み出すステップと、この割引率または割引額に基づいて商品またはサービスの代金を計算するステップとを備えている。

30 【0063】この販売方法を利用すると、バッグ所有者が代金を割り引いてもらうためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0064】本発明の販売方法は、上記発明の販売方法に加え、同一のバッグでの販売回数または提供回数に応じて、割引率または割引額を変更するようにしたものである。

40 【0065】この販売方法を利用すると、より有利な割引率または割引額を適用されるために消費者の購買意欲を増すことができ、ひいてはこのバッグがより使用され、よりゴミの減量化を図ることができる。

【0066】本発明の販売方法は、バッグに施された広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいは、その広告主に関連する所定の商品またはサービスをバッグの使用者に販売または提供する際に、この所定の商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算するステップと、計算したポイントデータを得点記憶手段に記憶するステップとを備えてい

る。

【0067】この販売方法を利用すると、バッグ所有者が、後で代金の一部または全部として使用できるポイントを獲得するためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0068】本発明の販売方法は、広告を施され固有の識別子を有するバッグから、その識別子を読み取るステップと、バッグを有する者に商品またはサービスを販売または提供する際に、読み取った識別子に対応して予め設定されている、広告の広告主により指定された所定の商品またはサービス、あるいはその広告の広告主に関連する所定の商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算するステップと、計算したポイントデータを得点記憶手段に記憶するステップとを備えている。

【0069】この販売方法を利用すると、バッグ所有者が、後で代金の一部または全部として使用できるポイントを獲得するためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0070】本発明の販売方法は、上記発明の販売方法に加え、ポイントデータを、バッグの所有者ごとに累積するようにしたものである。

【0071】この販売方法を利用すると、バッグの所有者ごとにポイントデータを管理することができる。

【0072】本発明の販売方法は、上記発明の販売方法に加え、識別子が1つ1つのバッグごとに異なる場合にはその識別子ごとに、識別子がバッグの種類ごとに共通である場合には他の識別情報および識別子ごとに、ポイントデータを累積するようにしたものである。

【0073】この販売方法を利用すると、バッグごとにポイントデータを管理することができる。

【0074】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、商品および／またはサービスを販売または提供する1または複数の店舗から、得点記憶手段を有するセンタへ、ネットワークを介してポイントデータを送信し、このポイントデータをセンタで受信し、センタの得点記憶手段にそのポイントデータを記憶するようにしたものである。

【0075】この販売方法を利用すると、センタで一元的にポイントデータを管理することができ、各店舗ごとにポイントデータを管理する必要がなくなる。

【0076】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、ポイントデータとともに、読み取ったバッグの識別子の情報を店舗から送信し、センタで、ポイントデータとともに、バッグの識別子の情報を受信し、センタの得点記憶手段に、受信したポイントデータを識別子

に関連付けて記憶するようにしたものである。

【0077】この販売方法を利用すると、センタで一元的に、バッグの識別子ごとに、すなわちバッグごとにポイントデータを管理することができる。例えば異なる店舗で同一のバッグを使用しても、異なる店舗で発生したポイントが同一のバッグについて累積することができ、複数の店舗でバッグを使用しても、同一の店舗でバッグを使用した場合と同様に、センタでポイントデータを管理することができる。

10 【0078】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、バッグの所有者を、この所有者の所有するバッグの識別子に関連付けてセンタに登録するようにしたものである。

【0079】この販売方法を利用すると、例えば複数のバッグを1人の所有者が所有する場合などでも、バッグの所有者ごとにポイントデータを管理することができ、バッグの所有者単位で、合計ポイントや所有するバッグの数などを把握することができる。

20 【0080】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、店舗で、バッグの識別子の情報をレシートに印刷するようにしたものである。

【0081】この販売方法を利用すると、バッグの識別子の情報に基づいて例えばバッグを追加登録する際に、バッグの所有者はレシートを見ることでバッグの識別子の情報を知ることができ、便利である。

30 【0082】本発明の販売方法は、上記発明の販売方法に加え、店舗でのバッグの提供時に、この店舗から所有者の初期識別子の発行要求をセンタへ送信し、センタが初期識別子の発行要求を受信すると固有の初期識別子を生成し、バッグの所有者が登録されるまでの期間、初期識別子とこのバッグの識別子と、このバッグの識別子に関連付けられたポイントデータとを関連付けて記憶するようにしたものである。

【0083】この販売方法を利用すると、初期識別子に関連付けられてポイントデータが保存されるため、バッグの所有者が後に、この初期識別子に基づいてこのポイントデータを管理／使用することができる。

40 【0084】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、登録済みのバッグの所有者が操作する端末装置に、ネットワークを介して、この所有者の所有するすべてのバッグに対するポイントデータの合計および／または各バッグに対するポイントデータをセンタから送信するようにしたものである。

【0085】この販売方法を利用すると、バッグ所有者が端末装置を操作することで簡単に自己の獲得したポイントを確認することができる。

50 【0086】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、登録済みのバッグの所有者が操作する端末装置から、バッグの登録抹消要求をバッグの識別子の情報とともに受信すると、バッグの登録抹消要求とともに受

信されたバッグの識別子の情報に対応するバッグの識別子およびこれに関連付けられたポイントデータをセンタで抹消するようにしたものである。

【0087】この販売方法を利用すると、不要になったバッグについてのセンタへの登録をバッグ所有者が抹消することができる。

【0088】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、センタで、登録済みのバッグの所有者が操作する端末装置から、ポイントデータ振替要求を、振替ポイント数、振替元のバッグの識別子の情報および振替先のバッグの識別子の情報とともに受信し、振替元のバッグの識別子に関連付けられたポイントデータから振替ポイント数を減算し、振替先のバッグの識別子に関連付けられたポイントデータに振替ポイント数を加算するようにしたものである。

【0089】この販売方法を利用すると、バッグ所有者が自己の所有する複数のバッグ間でポイントを振り替えることができ、便利である。例えば、あるバッグに対して割引率または割引額が設定されている高価格の商品を購入する際に、そのバッグに他のバッグからポイント

を振り替えることにより、ポイントを有効に使用することができる。

【0090】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、商品および／またはサービスの販売または提供の際に、店舗で、携帯型記憶媒体から所有者の識別情報を読み出し、店舗から、ポイントデータとともに、所有者の識別情報を送信し、センタで、このポイントデータおよび所有者の識別情報を受信し、センタの得点記憶手段に、受信したポイントデータを所有者の識別情報に関連付けて記憶するようにしたものである。

【0091】この販売方法を利用すると、同一種類のバッグ1の1つ1つに、異なる識別子を割り当てる必要がなくなり、バッグを大量生産する際のコストを低くすることができる。

【0092】本発明の販売方法は、上記発明の各販売方法に加え、得点記憶手段である携帯型記憶媒体にポイントデータを書き込むようにしたものである。

【0093】この販売方法を利用すると、同一種類のバッグ1の1つ1つに、異なる識別子を割り当てる必要がなくなり、バッグを大量生産する際のコストを低くすることができる。

【0094】

【発明の実施の形態】以下、図に基づいて本発明の実施の形態を説明する。

【0095】実施の形態1. 図1は、本発明の実施の形態1に係る販売システムの構成を示すブロック図である。

【0096】図1において、バッグ1は、店舗2にて購入する商品や、店舗2にて提供されるサービスに必要な物などを入れることができるものである。例えば、コン

ビニエンスストアなどの店舗2において購入した食料品や雑貨などを入れたりするために使用される。また、店舗2としてのクリーニング店に、クリーニングしてもらう衣服を持っていくときやクリーニングしてもらった衣服を持ち帰るときにその衣服を入れたりするために使用される。

【0097】図2は、図1の販売システムにおけるバッグ1の一例を示す斜視図である。

【0098】図1および図2に示すようにバッグ1には、店舗2において販売または提供される商品および／またはサービスの販売元、製造元、提供元などが広告主となって、広告主や商品／サービスの名前やロゴなどの広告11が印刷などされる。また、バッグ1には、そのバッグ固有の識別子としてバーコード12が印刷されたり貼り付けられたりされる。

【0099】店舗2は、例えばPOSシステムが設けられ、商品を販売したり、サービスを提供したりする場所である。この店舗2において、スキャナ21は、POSシステムの一貫として、商品や価格表などに印刷されたり貼り付けられているバーコードを読み取ったり、バッグ1のバーコード12を読み取ったりする読取手段である。

【0100】また、POS端末22は、店舗2の店員に使用され、商品および／またはサービスの代金の計算や管理、売上情報の管理などを行うものである。POS端末22において、記憶手段31は、各商品などに付されているバーコードに関連付けて商品またはサービスの情報や価格を記憶するとともに、広告主に関連する所定の商品またはサービスや、広告主が直接的または間接的に指定した所定の商品またはサービスについての割引率をバッグ1のバーコード12に対応する識別子（以下、バッグIDという）に関連付けて記憶するものである。なお、割引率の代わりに割引額としたり、商品やサービスごとに割引率と割引額とを分けるようにしてもよいし、両者を併用してもよい。

【0101】また、POS端末22において、計算手段32は、商品および／またはサービスの代金の合計などを計算するとともに、記憶手段31においてスキャナ21により読み取られたバッグIDに割引率が設定されている場合、その商品またはサービスに対する割引率を記憶手段31から読み出し、この割引率に基づいてその商品またはサービスの代金を計算するものである。また、計算手段32は、この商品またはサービスの代金の額に応じたポイントをポイントデータとして計算するものである。

【0102】さらに、POS端末22において、印刷手段33は、商品および／またはサービスの代金の一覧や合計などを印刷するとともに、バッグ1のバーコード12を読み取って得られたバッグIDなどを印刷するものである。

10

20

30

40

50

【0103】さらに、店舗2のサーバ23は、POS端末22による管理状況の情報をネットワーク4を介してセンタ3に送信したり、ネットワーク4を介してセンタ3から各種データを受信するためのものである。また、サーバ23は、計算手段32により計算されたポイントデータをバッグIDとともにネットワーク4を介してセンタ3に送信したり、累積ポイントの送信要求をバッグIDとともに送信して、センタ3から送信されてくる累積ポイントのデータを受信するものである。

【0104】センタ3は、1または複数の店舗2にネットワーク4を介して接続し、各店舗2の管理やポイントデータの管理を行うものである。また、センタ3は、バッグ1の所有者を登録するものである。

【0105】センタ3において、サーバ41は、ネットワーク4を介して各店舗2からの管理状況の情報やポイントデータなどを受信したり、累積ポイントの送信要求を受信したりするとともに、ポイントデータを受信した場合には、データベース51に対してそのポイントの累積を実行したり、累積ポイントの送信要求を受信した場合には、指定されたバッグIDに関連付けられて記憶された累積ポイントをデータベース51から読み出し、送信したりするものである。

【0106】また、データベース51は、ポイントデータをバッグIDに関連付けて累積記憶するとともに、登録されたバッグ1の所有者と、これらのポイントデータおよびバッグIDとを関連付けて、バッグ1の所有者の登録情報を記憶するものである。

【0107】ネットワーク4は、各店舗2とセンタ3とを接続するものであり、また、バッグ1の所有者である消費者が操作する端末装置5とセンタ3とを接続するものである。なお、各店舗2とセンタ3とを接続するネットワークは、バッグ1の所有者である消費者が操作する端末装置5とセンタ3とを接続するネットワーク（例えばインターネット）と独立に設けるようにしてもよい。

【0108】端末装置5は、例えばモデムなどの通信手段を内蔵したパーソナルコンピュータとして実現され、バッグ1の所有者である消費者により操作され、例えばWWWブラウザプログラムを実行して、センタ3のサーバ41にアクセスし、バッグ1の所有者の登録、ポイントデータの累積情報の確認などのために使用されるものである。

【0109】次に、この販売システムの動作、すなわち、この販売システムを使用した販売方法について説明する。

【0110】まず、バッグ1の取得について説明する。

【0111】バッグ1は、このシステムを導入している店舗2などに、無料または有料の商品として陳列される。そして、消費者により取得される。

【0112】この際、バッグ1として複数種類のものが取り扱われるようにしてもよい。複数の広告主がい

ば、必然的にそれぞれ異なるデザインとなるため、各広告主によるデザインのバッグ1が陳列される。また、1広告主が複数種類のバッグ1を製作するようにしてもよい。

【0113】また、複数の広告主が共同で1つのバッグ1に広告11を入れるようにしてもよい。その場合、その複数の広告主に関連する、あるいは、その複数の広告主により指定された商品やサービスに対して割引率または割引額が設定される。このように複数の広告主が1つのバッグ1に1または複数の広告11を入れるようにすることで、各広告主の金銭的な負担を軽減することができる。

【0114】また、広告11としては、広告主、商品、サービスなどの名前やロゴの他、有名芸能人の写真やイラストなどでもよい。

【0115】上記の広告主としては、商品の製造者または販売者、サービスの提供者などの他、複数の店舗をチェーン展開している企業などが考えられる。

【0116】次に、バッグ1を店舗2に持って行ってバッグ1の所有者である消費者が商品を購入したり、サービスを受けたりする場合のこの販売システムの動作について説明する。

【0117】商品および/またはサービスの代金を清算する際に、店舗2の店員によりスキャナ21およびPOS端末22が操作され、バッグ1のバーコード12が読み取られる。POS端末22では、計算手段32が、そのバーコード12から得られるバッグIDに対応して割引率または割引額が設定されている商品および/またはサービスを検索する。

【0118】そして、消費者が購入/享受する各商品またはサービスに対応するバーコードがスキャナ21で順次読み取られると、計算手段32は、その商品またはサービスの価格を記憶手段31から読み出す。そして、計算手段32は、割引率または割引額が設定されている商品またはサービスの場合には、その商品またはサービスの割引率または割引額を記憶手段31から読み出し、その商品またはサービスの価格からその割引率または割引額に対応する額を差し引いてその商品またはサービスの代金を計算する。

【0119】一方、計算手段32は、割引率および割引額が設定されていない商品またはサービスの場合には、その商品またはサービスの価格をそのまま、その商品またはサービスの代金とする。

【0120】このようにして、POS端末22の計算手段32は、割引率の設定されている商品またはサービスについては代金の割引を実行しつつ、各商品またはサービスの代金を順次計算していき、最後に、全商品および/またはサービスの代金の合計を計算する。

【0121】図3は、店舗2におけるPOS端末22の記憶手段31に予め記憶された、割引率の設定されたバ

10

20

30

40

50

ッグID、その割引率が設定されている商品および／またはサービス、およびその割引率の一覧の例を示す図である。例えば、バッグIDが「AAA10001」から「AAA59999」までのいずれかであるバッグ1を持って商品を購入した場合に、そのバッグ1の広告主に関連する商品であって商品IDが「E7482」、「E7484」および「E7485」のいずれかである商品については、割引率2%が適用され、商品IDが「E7483」である商品については、割引率3%が適用されて、代金が計算される。なお、商品の価格は、この商品IDに関連付けられて、商品情報とともに、別途、記憶手段31に記憶されている。

【0122】なお、この割引率や割引額は、広告主に関連する、または広告主により指定された商品やサービスをバッグ所有者が購入／享受した回数や代金の累計などに応じて増加させるようにしてもよい。その場合、このような回数や代金の累計は、センタ3で各バッグごと、および／または各バッグ所有者ごとに一括して管理すればよい。

【0123】また、計算手段32は、割引率または割引額の設定されている商品またはサービスに対して代金を支払う場合には、その支払代金の額に対応するポイントを計算する。

【0124】計算手段32は、このポイントのデータを、先に読み取られたバッグIDとともにサーバ23に供給する。サーバ23は、このポイントデータとバッグIDをセンタ3のサーバ41に送信する。

【0125】センタ3のサーバ41は、このポイントデータとバッグIDを受信すると、データベース51でこのバッグIDを検索し、このバッグIDが登録されている場合には、そのバッグIDに関連付けられて記憶されている累積ポイントのデータを読み出す。そして、サーバ41は、読み出した累積ポイントに今回のポイントを加算し、加算後のポイントを累積ポイントとしてデータベース51に記憶させる。

【0126】一方、サーバ41は、バッグIDが登録されていない場合には、新たにバッグIDをデータベース51に登録し、そのバッグIDに関連付けて、今回のポイントを累積ポイントとしてデータベース51に記憶させる。

【0127】このようにセンタ3のサーバ41は、このバッグIDについての累積ポイントを新規記憶または更新した後、累積ポイントのデータを店舗2のサーバ23に返信する。店舗2のサーバ23は、この累積ポイントのデータを受信すると、POS端末22に転送する。

【0128】そしてPOS端末22の印刷手段33は、各商品またはサービスの代金、合計代金、累積ポイントなど、および、バッグIDをレシートに印刷する。そして、このレシートは店舗2の店員により消費者すなわちバッグ1の所有者に渡される。

【0129】また、累積ポイントを、代金の一部または全部として使用することも可能である。累積ポイントを代金の一部または全部として使用する場合、まず、その旨を店舗2の店員に告げる。店舗2の店員のPOS端末22に対する操作により、使用するポイント数あるいは全ポイントを使用する旨が入力される。

【0130】POS端末22は、まず、累積ポイントの送信要求をバッグIDとともに、サーバ23およびネットワーク4を介してセンタ3に送信する。センタ3のサーバ41はその累積ポイントの送信要求を受信すると、ともに送信されてきたバッグIDに対応する累積ポイントのデータをデータベース51から読み出し、その累積ポイントのデータを店舗2に送信する。店舗2のサーバ23は、この累積ポイントのデータを受信するとPOS端末22に転送する。

【0131】これによりPOS端末22の計算手段32は、現在の累積ポイントのデータを取得し、使用するポイント数が現在の累積ポイント数以下であるか否かを判断する。このとき、使用するポイント数が現在の累積ポイント数以上である場合には、全ポイントを使用するものとする。そして、使用するポイント数が現在の累積ポイント数より少ない場合、および、全ポイントを使用する場合には、計算手段32は、合計代金または特定の商品および／またはサービスの代金から、その使用するポイントまたは全ポイントに対応する金額を差し引く。

【0132】そして、POS端末22は、結果として使用されたポイントのデータをバッグIDとともに、サーバ23およびネットワーク4を介してセンタ3に送信する。センタ3のサーバ41は、その使用したポイントをバッグIDとともに受信すると、データベース51でこのバッグIDを検索し、そのバッグIDに関連付けられて記憶されている累積ポイントのデータを読み出す。そしてサーバ41は、その累積ポイントから今回使用したポイントを減算し、減算後のポイントを累積ポイントとしてデータベース51に記憶させる。

【0133】このようにして、バッグ1の広告主に関連する、あるいはその広告主により指定された商品やサービスを購入／享受すると、代金の割引が受けられるとともに、後で代金の一部または全部の代わりとして使用可能なポイントが今回の代金に応じてバッグ1の所有者に対して与えられ、このポイントを累積した累積ポイントがセンタ3のデータベース51に記憶される。

【0134】次に、バッグ1の所有者をセンタ3へ登録する場合の動作について説明する。

【0135】バッグ1の所有者は、センタ3へ自己を登録する場合、まず、端末装置5を操作してWWWブラウザプログラムを起動させ、センタ3のサーバ41のトップページのURL (Uniform resource locator) を入力して、ネットワーク4を介してセンタ3のサーバ41にアクセスする。センタ3のサーバ41は、WWWサーバ

10

20

30

40

50

としても機能し、端末装置5からのアクセスに対応してHTTP (Hypertexttransfer protocol) に従ってそのURLのHTML (hypertext markup language) 文書を端末装置5に送信する。

【0136】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、そのHTML文書を受信すると、そのトップページを、図示せぬディスプレイに表示させる。図4は、センタ3のサーバ41のトップページの一例を示す図である。

【0137】例えば図4に示すように、センタ3のサーバ41のトップページでは、初期登録のページへのリンク101、バッグの追加のためのページへのリンク102、バッグの登録抹消のためのページへのリンク103、累積ポイント確認のためのページへのリンク104、複数のバッグ1を所有している場合に、あるバッグ1の累積ポイントを他のバッグ1に振り替えるためのページへのリンク105、オンラインショップへのリンク106などが表示される。

【0138】そしてバッグ1の所有者の登録の際には、バッグ1の所有者が図示せぬ入力手段を操作してリンク101を選択する。そして、この選択した旨の情報が、端末装置5からセンタ3のサーバ41へ送信され、センタ3のサーバ41は、そのリンク101先である初期登録のページのHTML文書を端末装置5に送信する。

【0139】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、そのHTML文書を受信すると、そのページを、図示せぬディスプレイに表示させる。図5は、初期登録のページの一例を示す図である。

【0140】例えば図5に示すように、初期登録のページでは、バッグIDを入力する欄111、登録する所有者の名前を入力する欄112、以後認証に必要なパスワードを入力する欄113などが表示される。

【0141】そして、バッグ1の所有者は、例えばレシートに印刷されたバッグIDを見て、そのバッグIDを欄111に入力し、登録する名前を欄112に入力し、設定するパスワードを欄113に入力する。なお、バッグIDとしては、一見してもわからないような所定の規則性を有する文字列などを使用して、ランダムな文字列でのセンタ3への不正なアクセスを抑制するようにしてもよい。

【0142】その後、バッグ1の所有者が図示せぬ入力手段を操作して送信ボタン114を押下すると、WWWブラウザプログラムは、欄111、112、113に入力された情報をセンタ3のサーバ41に送信する。なお、この際、SSL (Secure Socket Layer) などによる暗号通信を使用するようにしてもよい。

【0143】センタ3のサーバ41は、バッグID、所有者名およびパスワードを受信すると、まず、その所有者名およびパスワードをデータベース51に登録し、次に、データベース51でバッグIDを検索して、そのバ

ッグIDおよびそのバッグIDに関連付けて記憶された累積ポイントデータを発見すると、そのバッグIDおよび累積ポイントデータを、今回登録した所有者名およびパスワードに関連付ける。

【0144】すなわち、センタのサーバ41により、バッグ1の所有者を、この所有者の所有するバッグIDに関連付けて登録する登録手段が実現される。

【0145】図6は、データベース51に登録された所有者名などとバッグIDおよび累積ポイントとの対応関係の一例を示す図である。

【0146】予めバッグID「AAA10011」に関連付けて累積ポイント「1050」がデータベース51に登録されているときに、初期登録として、端末装置5から、所有者名「〇〇××」、パスワード「a0b1rk」およびバッグID「AAA10011」が送信されてくると、センタ3のサーバ41は、まず、図6に示すように、所有者名およびパスワードを登録し、次に、バッグID「AAA10011」を検索して、発見したバッグID「AAA10011」および累積ポイント「1050」のレコードを、今回登録した所有者「〇〇××」およびパスワード「a0b1rk」のレコードに関連付ける。

【0147】このようにして、バッグ1の所有者がセンタ3に登録される。なお、図6では、所有者名「〇〇××」およびパスワード「a0b1rk」に対応付けられているバッグ1が3つある場合が示されているが、この状態の詳細については、後述する。

【0148】また、登録済みの所有者が別のバッグ1を取得している場合には、このバッグ1に対する累積ポイントを管理することができる。この場合には、所有者が端末装置5の図示せぬ入力手段を操作して、図4に示すトップページにおいて、バッグ1の追加のページへのリンク102を選択する。

【0149】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、リンク102が選択され、バッグの追加のページが選択された旨をセンタ3のサーバ41に送信する。センタ3のサーバ41は、それを受信すると、バッグの追加のページを記述したHTML文書を端末装置5に送信する。

【0150】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、そのHTML文書に基づき、バッグの追加のページを図示せぬディスプレイに表示させる。図7は、バッグの追加のページの一例を示す図である。例えば図7に示すように、バッグの追加のページでは、バッグの所有者名を入力する欄121、パスワードを入力する欄122、追加するバッグのバッグIDを入力する欄123などが表示される。

【0151】そして、所有者が図示せぬ入力手段を操作して、上述のようにして登録した所有者名を欄121に入力し、パスワードを欄122に入力し、追加するバ

10

20

30

40

50

グのバッグIDを欄123に入力した後、送信ボタン124を押下すると、WWWブラウザプログラムは、欄121、122、123に入力された情報をセンタ3のサーバ41に送信する。

【0152】センタのサーバ41は、その所有者名、パスワードおよびバッグIDを受信すると、まず、データベース51で所有者名を検索し、発見した場合には、発見した所有者のパスワードを読み出し、受信したパスワードと比較し、一致する場合には、受信した所有者名、パスワードおよびバッグIDの送信元が、登録済みのバ

ッグ所有者であると判断する。なお、登録済みのバッグ所有者ではない場合、処理を終了する。

【0153】次に、センタのサーバ41は、受信したバッグIDをデータベース51で検索し、発見したバッグIDおよびそのバッグIDについての累積ポイントのレコードを、受信した所有者名およびパスワードのレコードに関連付ける。

【0154】所有者「〇〇××」およびパスワード「a0b1rk」がデータベース51に登録されている場合に、バッグ1の追加のために、端末装置5から、所有者名「〇〇××」、パスワード「a0b1rk」およびバッグID「YY200005」が送信された場合、センタ3のサーバ41は、まず、データベース51で所有者「〇〇××」を検索し、発見すると、その所有者に対するパスワードを読み出し、受信したパスワード「a0b1rk」と照合する。そして、両者が一致すると、次に、データベース51で、バッグID「YY200005」を検索し、発見すると、その発見したバッグID「YY200005」およびそれについての累積ポイントデータ「55」のレコードを、所有者「〇〇××」およびパスワード「a0b1rk」のレコードに関連付ける。

【0155】このようにして、センタ3における複数のバッグ1の登録情報を、1人の所有者の登録情報に関連づけることができる。

【0156】次に、登録済みの所有者がバッグ1の登録を抹消する場合の動作について説明する。この場合には、所有者が端末装置5の図示せぬ入力手段を操作して、図4に示すトップページにおいて、バッグ1の登録抹消のページへのリンク103を選択する。

【0157】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、リンク103が選択され、バッグの登録抹消のページが選択された旨をセンタ3のサーバ41に送信する。センタ3のサーバ41は、それを受信すると、バッグの登録抹消のページを記述したHTML文書を端末装置5に送信する。

【0158】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、そのHTML文書に基づき、バッグの登録抹消のページを図示せぬディスプレイに表示させる。図8は、バッグの登録抹消のページの一例を示す図である。例えば

図8に示すように、バッグの登録抹消のページでは、バッグの所有者名を入力する欄131、パスワードを入力する欄132、登録抹消するバッグのバッグIDを入力する欄133などが表示される。

【0159】そして、所有者が図示せぬ入力手段を操作して、上述のようにして登録した所有者名を欄131に入力し、パスワードを欄132に入力し、登録抹消するバッグのバッグIDを欄133に入力した後、送信ボタン134を押下すると、WWWブラウザプログラムは、欄131、132、133に入力された情報をセンタ3のサーバ41に送信する。

【0160】センタのサーバ41は、その所有者名、パスワードおよびバッグIDを受信すると、まず、データベース51で所有者名を検索し、発見した場合には、発見した所有者のパスワードを読み出し、受信したパスワードと比較し、一致する場合には、受信した所有者名、パスワードおよびバッグIDの送信元が、登録済みのバッグ所有者であると判断する。なお、登録済みのバッグ所有者ではない場合、処理を終了する。

【0161】次にセンタ3のサーバ41は、受信したバッグIDをデータベース51で検索し、発見したバッグIDおよびそのバッグIDについての累積ポイントのレコードを削除する。この際、サーバ41は、この所有者が所有する他のバッグ1の累積ポイントに、削除したバッグ1の累積ポイントを加算する。

【0162】このようにして、センタ3におけるバッグ1の登録を抹消することができる。

【0163】次に、バッグ1の所有者がセンタ3へアクセスし、ポイントデータを確認する場合の動作について説明する。この場合には、所有者が端末装置5の図示せぬ入力手段を操作して、図4に示すトップページにおいて、各バッグ1についてのポイントデータを確認するためのページへのリンク104を選択する。

【0164】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、リンク104が選択され、バッグ1に累積したポイントの確認のページが選択された旨をセンタ3のサーバ41に送信する。センタ3のサーバ41は、それを受信すると、ポイント確認のページを記述したHTML文書を端末装置5に送信する。

【0165】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、そのHTML文書を受信すると、ディスプレイに、そのHTML文書に記述されたページを表示させる。図9は、ポイント確認のページの一例を示す図である。例えば図9に示すように、各バッグ1に累積したポイントを確認するページでは、まず、バッグの所有者名を入力する欄141、パスワードを入力する欄142などが表示される。

【0166】そして、所有者が図示せぬ入力手段を操作して、上述のようにして登録した所有者名を欄141に入力し、パスワードを欄142に入力した後、送信ボタ

10

20

30

40

50

ン143をクリックすると、WWWブラウザプログラムは、欄141、142に入力された情報をセンタ3のサーバ41に送信する。

【0167】センタのサーバ41は、その所有者名およびパスワードを受信すると、まず、データベース51で所有者名を検索し、発見した場合には、発見した所有者のパスワードを読み出し、受信したパスワードと比較し、一致する場合には、受信した所有者名およびパスワードの送信元が、登録済みのバッグ所有者であると判断する。なお、登録済みのバッグ所有者ではない場合、処理を終了する。

【0168】次にセンタ3のサーバ41は、そのバッグの所有者名およびパスワードの記録に関連付けられているすべてのバッグIDおよび累積ポイントの記録を読み出し、すべての累積ポイントの合計を計算する。そして、センタ3のサーバ41は、各バッグIDについての累積ポイントおよび全累積ポイントの合計の情報を有するHTML文書を作成し、端末装置5に送信する。

【0169】すなわち、サーバ41は、登録済みのバッグ所有者が操作する端末装置5に、ネットワーク4を介して、この所有者の所有するすべてのバッグ1に対するポイントデータの合計および／または各バッグに対するポイントデータを送信するポイントデータ送信手段として機能する。

【0170】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、そのHTML文書を受信すると、図示せぬディスプレイに、そのHTML文書に記述されたページを表示させる。図10は、各バッグについての累積ポイントの一覧および累積ポイントの合計の表示例を示す図である。

【0171】例えば図9に示すページに対して所有者名およびパスワードを入力し、送信した場合、その所有者の有するバッグ1についての累積ポイントの情報が例えば図10に示すように表示される。

【0172】図10では、合計ポイント数として「1148」が表示され、バッグID「AAA100001」についての累積ポイント数として「1050」が表示され、バッグID「XXX25561」についての累積ポイント数として「43」が表示され、バッグID「YY200005」についての累積ポイント数として「5」が表示されている。

【0173】このようにして、1または複数の各バッグ1の累積ポイントおよび累積ポイントの合計が端末装置5で表示される。

【0174】次に、複数のバッグ1を有する際に、あるバッグ1の累積ポイントの一部または全部を他のバッグ1に振り替える場合の動作について説明する。この場合には、所有者が端末装置5の図示せぬ入力手段を操作して、図4に示すトップページにおいて、バッグ1間でポイントを振り替えるためのページへのリンク105を選

択する。

【0175】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、リンク105が選択され、バッグ1に累積したポイントの他のバッグ1に振り替えるためのページが選択された旨をセンタ3のサーバ41に送信する。センタ3のサーバ41は、それを受信すると、ポイント振り替えのページを記述したHTML文書を端末装置5に送信する。

【0176】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、そのHTML文書を受信すると、図示せぬディスプレイに、そのHTML文書に記述されたページを表示させる。図11は、ポイント振り替えのページの一例を示す図である。例えば図11に示すように、ポイント振り替えのページでは、バッグの所有者名を入力する欄151、パスワードを入力する欄152、振り替えるポイント数を入力する欄153、振替元のバッグIDを入力する欄154、振替先のバッグIDを入力する欄155などが表示される。

【0177】そして、所有者が図示せぬ入力手段を操作して、上述のようにして登録した所有者名を欄151に入力し、パスワードを欄152に入力し、振り替えるポイント数を欄153に入力し、振替元のバッグIDを欄154に入力し、振替先のバッグIDを欄155に入力した後、送信ボタン156を押下すると、WWWブラウザプログラムは、欄151～155に入力された情報をセンタ3のサーバ41に送信する。

【0178】センタのサーバ41は、その所有者名およびパスワードを受信すると、まず、データベース51で所有者名を検索し、発見した場合には、発見した所有者のパスワードを読み出し、受信したパスワードと比較し、一致する場合には、受信した所有者名およびパスワードの送信元が、登録済みのバッグ所有者であると判断する。なお、登録済みのバッグ所有者ではない場合、処理を終了する。

【0179】次にセンタ3のサーバ41は、ポイントの振替元のバッグIDおよび振替先のバッグIDをデータベース51で検索し、それらのバッグIDについての累積ポイントを読み出す。そしてサーバ41は、振替元のバッグIDについての累積ポイントから、振り替えるポイント数を減算し、減算後のポイント数を、振替元のバッグIDについての累積ポイントとする。また、サーバ41は、振替先のバッグIDについての累積ポイントに、振り替えるポイント数を加算し、加算後のポイント数を、振替先のバッグIDについての累積ポイントとする。サーバ41は、このようにして更新した振替元および振替先のバッグIDについての累積ポイントのデータを、データベース51に書き込む。

【0180】このようにして、複数のバッグ1間で累積ポイントの一部または全部を振り替えることができる。

【0181】また、上記のバッグ1の追加登録、累積ポ

イントの振り替え、およびバッグ1の登録抹消を応用して、バッグ1の取替時の登録の変更も可能である。すなわち、新たなバッグ1を追加登録した後、元のバッグ1から新たなバッグ1へ累積ポイントを振り替え、そして、元のバッグ1の登録を抹消すればよい。

【0182】次に、累積ポイントを使用してオンラインショップで商品を取得する場合の動作について説明する。この場合には、所有者が端末装置5の図示せぬ入力手段を操作して、図4に示すトップページにおいて、オンラインショップへのリンク106を選択する。

【0183】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、リンク106が選択され、オンラインショップのページが選択された旨をセンタ3のサーバ41に送信する。センタ3のサーバ41は、それを受信すると、オンラインショップのページを記述したHTML文書を端末装置5に送信する。

【0184】端末装置5のWWWブラウザプログラムは、そのHTML文書を受信すると、図示せぬディスプレイに、そのHTML文書に記述されたページを表示させる。図12は、オンラインショップのページの一例を示す図である。例えば図12に示すように、オンラインショップのページでは、提供する商品の画像161およびその商品を対価としてのポイント数162が表示される。

【0185】そして、所有者が図示せぬ入力手段を操作して、商品の画像161を押下すると、その旨の通知がセンタ3のサーバ41に送信される。そしてセンタ3のサーバ41は、それを受けて、その商品の詳細情報や購入フォームを有するHTML文書を端末装置5に送信する。そして、端末装置5は、そのHTML文書に従って、その商品の詳細情報や購入フォームを図示せぬディスプレイに表示させる。

【0186】バッグ1の所有者は、端末装置5の図示せぬ入力手段を操作して、この購入フォームに、所有者名およびパスワード、商品の発送先などを入力する。そして、入力された所有者およびパスワードの情報がセンタ3のサーバ41に送信される。サーバ41は、それに応じて、その商品の発送の手配をするとともに、その商品のポイント数だけ、その所有者名およびパスワードに関連付けられた累積ポイントを減算して、データベース51におけるその累積ポイントデータを更新する。

【0187】すなわち、サーバ41および端末装置5により、所定の商品および/またはサービスを呈示する呈示手段が実現される。サーバ41により、この呈示された所定の商品および/またはサービスのうち、バッグの所有者により選択された商品および/またはサービスに対応する点数のポイントデータを、データベース51に記憶されたポイントデータから減算してポイントデータを更新する第2の計算手段が実現される。

【0188】以上のように、この実施の形態1によれ

ば、広告11を施され、固有の識別子としてのバーコード12を付したバッグ1から、この識別子を読み取り、この広告11の広告主に関連する所定の商品またはサービスを販売または提供する際に、読み取った識別子に対する所定の割引率または割引額を記憶手段31から読み出し、この割引率または割引額に基づいて商品またはサービスの代金を計算するようにしたので、バッグ所有者が代金を割り引いてもらうためにバッグ1を買物などに持ち歩き、それにより、バッグ1の再利用が図られるとともに、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗2は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0189】また、この実施の形態1によれば、広告11の広告主に関連する商品またはサービスを販売または提供する際に、同一のバッグ1での販売回数および/または提供回数に応じて、割引率または割引額を変更(増加)するようにしたので、より有利な割引率または割引額を適用されるために消費者の購買意欲を増すことができ、ひいてはこのバッグがより使用され、よりゴミの減量化を図ることができる。

【0190】さらに、この実施の形態1によれば、広告11を施され、固有の識別子としてのバーコード12を付したバッグ1から、この識別子を読み取り、この広告11の広告主に関連する所定の商品またはサービスを販売または提供する際に、この所定の商品またはサービスの代金の額に応じたポイントデータを計算し、計算したポイントデータをデータベース51に記憶するようにしたので、バッグ所有者が、後で代金の一部または全部として使用できるポイントを獲得するためにバッグ1を買物などに持ち歩き、それにより、バッグ1の再利用が図られるとともに、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗2は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0191】さらに、この実施の形態1によれば、店舗2からセンタ3へネットワーク4を介してポイントデータを送信し、このポイントデータをセンタ3で受信すると、センタ3のデータベース51に、受信したポイントデータを記憶するようにしたので、センタ3で一元的にポイントデータを管理することができ、各店舗2ごとにポイントデータを管理する必要がなくなる。

【0192】さらに、この実施の形態1によれば、ポイントデータとともに、読み取ったバッグIDを店舗2から送信し、センタ3で、ポイントデータとともにバッグIDを受信すると、センタ3のデータベース51に、受信したポイントデータをそのバッグIDに関連付けて記憶するようにしたので、センタ3で一元的に、バッグIDごとに、すなわちバッグ1ごとにポイントデータを管理することができ、例えば異なる店舗2で同一のバッグ1を使用しても、異なる店舗2で発生したポイントが累積してデータベース51に記憶することができ、複数の

10

20

30

40

50

店舗2でバッグ1を使用しても、同一の店舗2でバッグ1を使用した場合と同様に、センタ3でポイントデータを管理することができる。

【0193】さらに、この実施の形態1によれば、バッグ1の所有者を、この所有者の所有するバッグ1のバッグIDに関連付けてセンタ3に登録するようにしたので、例えば複数のバッグ1を1人の所有者が所有する場合などでも、バッグ1の所有者ごとにポイントデータを管理することができ、バッグ1の所有者単位で、合計ポイントや所有するバッグの数などを把握することができる。

【0194】さらに、この実施の形態1によれば、バッグ1の所有者が端末装置5に対して入力した所有者名およびパスワードといった識別情報をネットワーク4を介してセンタ3で受信し、受信した識別情報に基づいてバッグ所有者をセンタ3に登録するようにしたので、例えば自宅に設置されたパーソナルコンピュータなどの端末装置5を操作して、バッグ所有者が都合のよい時に遠隔からセンタ3に自己を登録することができ、便利である。また、自宅の端末装置5を操作する場合には、登録時に、入力した所有者名やパスワードなどを他人に盗み見られる可能性を低くすることができる。

【0195】さらに、この実施の形態1によれば、バッグ1の所有者が端末装置5に対して入力したバッグIDをネットワーク4を介してセンタ3で受信し、受信したバッグIDに基づいて、このバッグIDおよびこのバッグIDに関連付けられたポイントデータを、この所有者の登録データに関連付けるようにしたので、この所有者の所有するバッグ1として、このバッグIDを有するバック1を追加することができ、バッグ1を取得した後に、さらに別のバッグ1を取得した場合でも、所有者単位で一括して複数のバッグ1を管理することができる。

【0196】さらに、この実施の形態1によれば、店舗2でバッグIDをレシートに印刷するようにしたので、バッグIDに基づいてバッグ1を追加登録する際に、バッグ1の所有者がレシートを見ることでバッグIDを知ることができ、便利である。

【0197】さらに、この実施の形態1によれば、バッグ1の所有者がセンタ3にアクセスする際に、所有者名やパスワードといった識別情報に基づいて、このバッグ1の所有者を認証するようにしたので、他人による不正アクセスを抑制することができる。

【0198】さらに、この実施の形態1によれば、バッグ1の所有者がセンタ3にアクセスする際に、このバッグ1の所有者が未登録である場合には、バッグIDのみでこのバッグの所有者を認証するようにしたので、センタ3への初期登録をバッグ1の所有者が自ら行うことができ、店舗2などがバッグ1の所有者をセンタ3へ初期登録しなくても済む。

【0199】さらに、この実施の形態1によれば、登録

済みのバッグ所有者が端末装置5を操作して、ネットワーク4を介して、この所有者の所有するすべてのバッグ1に対するポイントデータの合計および/または各バッグに対するポイントデータをセンタ3から送信させるようにしたので、バッグ所有者が簡単に自己の獲得したポイントを確認することができる。

【0200】さらに、この実施の形態1によれば、登録済みのバッグ所有者が端末装置5を操作して送信したバッグ1の登録抹消要求をバッグIDとともに受信すると、センタ3がこのバッグIDおよびこれに関連付けられたポイントデータを抹消するようにしたので、不要になったバッグ1についてのセンタ3への登録をバッグ所有者が抹消することができる。

【0201】さらに、この実施の形態1によれば、抹消したポイントデータを、他のバッグIDに関連付けられたポイントデータに加算するようにしたので、あるバッグ1の登録を抹消しても、そのバッグ1について累積されたポイントを失うことがない。

【0202】さらに、この実施の形態1によれば、登録済みのバッグ所有者が操作する端末装置5から、ポイントデータ振替要求を、振替ポイント数、振替元のバッグIDおよび振替先のバッグIDとともに受信すると、センタ3が、振替元のバッグIDに関連付けられたポイントデータから振替ポイント数を減算し、振替先のバッグIDに関連付けられたポイントデータに振替ポイント数を加算するようにしたので、バッグ所有者が自己の所有する複数のバッグ1間でポイントを振り替えることができ、便利である。例えば、あるバッグ1に対して割引率が設定されている高価格の商品を購入する際に、そのバッグ1に他のバッグ1からポイントを振り替えることにより、ポイントを有効に使用することができる。

【0203】実施の形態2. 本発明の他の実施の形態に係る販売システムについて説明する。なお、この実施の形態2の説明に当っては、実施の形態1で示した符号などを利用することとする。この実施の形態2に係る販売システムでは、店舗2でバッグ1を取得する際に、消費者が、センタ3の発行する初期識別子を取得し、後に、自己をセンタ3に初期登録する際に、その初期識別子を使用してセンタ3へアクセスする。

【0204】すなわち、店舗2のPOS端末22は、サーバ23に、バッグの提供時に、所有者の初期識別子の発行要求をバッグIDとともにセンタ3へ送信する。そして、センタ3のサーバ41は、この初期識別子の発行要求を受信すると、二重登録とならないように固有の初期識別子を生成し、この店舗2へ返信する。また、センタ3のサーバ41は、バッグ1の所有者が登録されるまでの期間、この初期識別子とこのバッグの識別子と、このバッグの識別子に関連付けられたポイントデータとを関連付けて管理する。

【0205】また、店舗2では、POS端末22は、バ

ッグの提供時にセンタ3から送信されてきた初期識別子をサーバ23を介して受信し、印刷手段33により、この初期識別子とバッグIDとをレシートに印刷する。このレシートは、店舗2の店員によりこのバッグ1を取得した消費者、すなわちこのバッグ1の所有者に渡される。

【0206】そして、このバッグ1の所有者が、端末装置5を操作してセンタ3にアクセスして初期登録をする際に、この初期識別子およびバッグIDを送信する。センタ3のサーバ41は、この初期識別子およびバッグIDが正しければ、アクセスしてきた者を、このバッグ1の所有者として認証する。そして、センタ3のサーバ41は、このバッグ1の所有者により入力された所有者名やパスワードに基づいてこのバッグ所有者を登録し、この初期識別子に関連付けられていた累積ポイントデータをこの所有者の登録データに関連付ける。

【0207】なお、この実施の形態2に係る販売システムの構成およびその他の動作については実施の形態1に係るものと同様であるので、その説明を省略する。

【0208】以上のように、この実施の形態2によれば、上記実施の形態1と同様の効果が得られる他、店舗2でのバッグ1の提供時に、この店舗2から所有者の初期識別子の発行要求をセンタ3へ送信し、センタ3が初期識別子の発行要求を受信すると固有の初期識別子を生じ、このバッグ1の所有者が登録されるまでの期間、初期識別子とこのバッグ1のバッグIDと、対応するポイントデータとを関連付けて記憶するようにしたので、バッグ所有者の登録前でも初期識別子に関連付けられてポイントデータが保存されるため、バッグ1の所有者が後に、この初期識別子に基づいてこのポイントデータを管理/使用することができる。

【0209】また、固有の初期識別子または固有のバッグ所有者の登録データに関連付けられて累積ポイントデータが管理されるため、同一種類のバッグ1には同一のバッグIDを付してもよく、バッグ1を大量生産する際のコストを低くすることができる。

【0210】また、この実施の形態2によれば、生成した初期識別子をセンタ3から店舗2へ送信し、店舗2がこの初期識別子を受信し、バッグ1の識別子の情報とともに、この初期識別子の情報をレシートに印刷するようにしたので、消費者がバッグ取得時に、初期識別子を簡単に確認することができる。

【0211】さらに、この実施の形態2によれば、バッグ1の所有者がセンタ3にアクセスする際に、このバッグ1の所有者が未登録である場合には、初期識別子およびバッグIDでこのバッグの所有者を認証するようにしたので、バッグ所有者のみがこの初期識別子を知り得るため、センタ3への不正なアクセスを抑制することができる。

【0212】実施の形態3. 次に、本発明のさらに他の

実施の形態に係る販売システムについて説明する。なお、この実施の形態3における構成要素であって実施の形態1と同一であるものについては、同一の符号を付するものとする。この実施の形態3の販売システムは、データベース51において、累積ポイントデータを、ICカード6に予め記憶された識別情報ごとに管理する。

【0213】図13は、本発明の実施の形態3に係る販売システムの構成を示すブロック図である。図13において、ICカード6は、所有者の識別情報を予め記憶された携帯型記憶媒体である。なお、このICカード6として、例えば、店舗2が発行したポイントカードや信販会社などが発行した後払いカードなどを利用するようにしてもよい。また、リーダ24は、店舗2に設置され、ICカード6から所有者の識別情報を読み出すためのものである。なお、図13におけるその他の構成要素については、図1におけるものと同様であるので、その説明を省略する。

【0214】次に、この販売システムの動作、すなわち、この販売システムを使用した販売方法について説明する。

【0215】まず、消費者は、上述の場合と同様にして、バッグ1を取得する。

【0216】次に、バッグ1を店舗2に持って行ってバッグ1の所有者である消費者が商品を購入したり、サービスを受けたりする場合の動作について説明する。

【0217】商品および/またはサービスの代金を清算する際に、上述の場合と同様にして、POS端末22は、割引率または割引額の設定されている商品またはサービスについては代金の割引を実行しつつ、各商品またはサービスの代金を順次計算していき、最後に、全商品および/またはサービスの代金の合計を計算する。

【0218】図14は、この実施の形態における店舗2におけるPOS端末22の記憶手段31に予め記憶された、割引率の設定されたバッグID、その割引率が設定されている商品および/またはサービス、およびその割引率の一覧の例を示す図である。

【0219】この実施の形態では、データベース51で、累積ポイントデータが、ICカード6に予め記憶された識別情報に関連付けて記憶されるため、バッグIDが1つ1つのバッグ1で異なる必要がなく、割引率の設定パターンに応じてバッグIDを変更すればよい。すなわち、同一のバッグIDを、同一種類の複数のバッグ1に割り当てることができる。

【0220】したがって、例えば図14に示すように、各バッグIDに対して商品の割引率が設定されていると、バッグ1からバッグID「A0001」が読み取られた場合に、商品IDが「E7482」である商品を購入すると、その商品の代金が「2%」割引される。また、これと同一種類のバッグ1には、同一のバッグID「A0001」が付されているので、同様に割引を受け

10

20

30

40

50

ることができる。

【0221】また、計算手段32は、割引率の設定されている商品またはサービスに対して代金を支払う場合には、その支払い代金の額に対応するポイントを計算する。

【0222】他方、代金清算の際、バッグ1の所有者は、ICカード6を店舗2の店員に渡し、店舗2の店員が、リーダ24を操作して、そのICカード6から識別情報を読み出させる。読み出された識別情報は、POS端末22に供給される。

【0223】そして、計算手段32は、計算したポイントのデータを、この識別情報とともにサーバ23に供給する。サーバ23は、このポイントデータと識別情報をセンタ3のサーバ41に送信する。センタ3のサーバ41は、このポイントデータと識別情報を受信すると、データベース51でこの識別情報を検索し、この識別情報が登録されている場合には、その識別情報に関連付けられて記憶されている累積ポイントのデータを読み出し、その累積ポイントに今回のポイントを加算し、加算後のポイントを累積ポイントとしてデータベース51に記憶させる。

【0224】一方、サーバ41は、この識別情報が登録されていない場合には、新たにこの識別情報をデータベース51に登録し、この識別情報に関連付けて、今回のポイントを累積ポイントとしてデータベース51に記憶させる。

【0225】図15は、データベース51に記憶された識別情報およびその識別情報に関連付けられて記憶された累積ポイントデータの例を示す図である。例えば図15では、あるバッグ所有者のICカード6の識別情報「2b8k12f5」に対して累積ポイント「952」がデータベース51に記憶されている。

【0226】このようにセンタ3のサーバ41は、バッグ1の所有者のICカード6固有の識別情報についての累積ポイントを新規記憶または更新した後、累積ポイントのデータを店舗2のサーバ23に返信する。店舗2のサーバ23は、この累積ポイントのデータを受信すると、POS端末22に転送する。

【0227】そしてPOS端末22の印刷手段33は、各商品またはサービスの代金、合計代金、累積ポイントなどをレシートに印刷する。そして、このレシートは店舗2の店員により消費者すなわちバッグ1の所有者に渡される。

【0228】また、上記累積ポイントを、代金の一部または全部として使用することも可能である。累積ポイントを代金の一部または全部として使用する場合、まず、その旨を店舗2の店員に告げる。店舗2の店員のPOS端末22に対する操作により、使用するポイント数あるいは全ポイントを使用する旨が入力される。

【0229】POS端末22は、まず、累積ポイントの

送信要求を上記識別情報とともに、サーバ23およびネットワーク4を介してセンタ3のサーバ41に送信する。サーバ23はその累積ポイントの送信要求を受信すると、ともに送信されてきた識別情報に対応する累積ポイントのデータをデータベース51から読み出し、その累積ポイントのデータを店舗2のサーバ23を介してPOS端末22に送信する。

【0230】これによりPOS端末22の計算手段32は、現在の累積ポイントのデータを取得し、使用するポイント数が現在の累積ポイント数以下であるか否かを判断する。このとき、使用するポイント数が現在の累積ポイント数以上である場合には、全ポイントを使用するものとする。そして、使用するポイント数が現在の累積ポイント数より少ない場合、および、全ポイントを使用する場合には、計算手段32は、合計代金または特定の商品および/またはサービスの代金から、その使用するポイントまたは全ポイントに対応する金額を差し引く。

【0231】そして、POS端末22は、結果として使用されたポイントのデータをこの識別情報とともに、サーバ23およびネットワーク4を介してセンタ3のサーバ41に送信する。センタ3のサーバ41は、その使用したポイントをバッグIDとともに受信すると、データベース51でこの識別情報を検索し、この識別情報に関連付けられて記憶されている累積ポイントのデータを読み出し、その累積ポイントに今回使用したポイントを減算し、減算後のポイントを累積ポイントとしてデータベース51に記憶させる。

【0232】このようにして、バッグ1の広告主に関連する商品やサービスを購入/享受すると、代金の割引が受けられるとともに、後で代金の一部または全部の代わりとして使用可能なポイントが今回の代金に応じてバッグ1の所有者に対して与えられ、このポイントを累積した累積ポイントがセンタ3のデータベース51に記憶される。

【0233】以上のように、この実施の形態3によれば、実施の形態1、2と同様に、バッグ所有者が代金を割り引いてもらうためにバッグ1を買物などに持ち歩き、それにより、バッグ1の再利用が図られるとともに、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗2は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0234】また、この実施の形態3によれば、実施の形態1、2と同様に、バッグ所有者が、後で代金の一部または全部として使用できるポイントを獲得するためにバッグ1を買物などに持ち歩き、それにより、バッグ1の再利用が図られるとともに、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗2は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0235】さらに、この実施の形態3によれば、実施の形態1、2と同様に、センタ3で一元的にポイントデ

10

20

30

40

50

ータを管理することができ、各店舗ごとにポイントデータを管理する必要がなくなる。

【0236】さらに、この実施の形態3によれば、商品および／またはサービスの販売または提供の際に、店舗2で、ICカード6から所有者の識別情報を読み出し、店舗2から、ポイントデータとともに、この所有者の識別情報を送信し、センタ3で、このポイントデータおよび所有者の識別情報を受信し、センタ3のデータベース51に、受信したポイントデータを所有者の識別情報に関連付けて記憶するようにしたので、バッグ1の1つ1つに、異なるバッグIDを割り当てる必要がなくなり、バッグ1を大量生産する際のコストを低くすることができる。

【0237】実施の形態4。次に、本発明のさらに他の実施の形態に係る販売システムについて説明する。この実施の形態4の販売システムは、ICカード6Aの記憶部61において、累積ポイントデータを管理する。

【0238】図16は、本発明のさらに他の実施の形態である実施の形態4に係る販売システムの構成を示すブロック図である。図16において、ICカード6Aは、上述の累積ポイントを記憶する得点記憶手段としての記憶部61を有する携帯型記憶媒体である。また、リーダライタ25は、店舗2に設置され、ICカード6Aに記憶された累積ポイントのデータを読み出すとともに、計算後の累積ポイントのデータをICカード6Aに書き込むためのものである。なお、図16におけるその他の構成要素については、図1または図13におけるものと同様であるので、その説明を省略する。

【0239】次に、この販売システムの動作について説明する。

【0240】まず、消費者は、上述の場合と同様にして、バッグ1を取得する。

【0241】次に、バッグ1を店舗2に持って行ってバッグ1の所有者である消費者が商品を購入したり、サービスを受けたりする場合の動作について説明する。

【0242】商品および／またはサービスの代金を清算する際に、上述の場合と同様にして、POS端末22は、割引率または割引額の設定されている商品またはサービスについては代金の割引を実行しつつ、各商品またはサービスの代金を順次計算していき、最後に、全商品および／またはサービスの代金の合計を計算する。

【0243】また、計算手段32は、割引率の設定されている商品またはサービスに対してバッグ所有者が代金を支払う場合には、その支払い代金の額に対応するポイントを計算する。

【0244】他方、代金清算の際、バッグ1の所有者は、ICカード6Aを店舗2の店員に渡し、店舗2の店員が、リーダライタ25を操作して、そのICカード6Aの記憶部61から累積ポイントデータを読み出させる。読み出された累積ポイントデータは、POS端末2

2に供給される。

【0245】そして、計算手段32は、今回計算したポイントを累積ポイントに加算し、加算後のポイントを累積ポイントとして、リーダライタ25に、ICカード6Aの記憶部61へ書き込ませる。

【0246】なお、このICカード6Aをバッグ所有者に配布する際に、累積ポイントの値は通常ゼロになっている。ただし、サービスの一貫として、所定の点数の累積ポイントを予め記憶して配布するようにしてもよい。

【0247】そしてPOS端末22の印刷手段33は、各商品またはサービスの代金、合計代金、累積ポイントなどをレシートに印刷する。そして、このレシートは店舗2の店員により消費者すなわちバッグ1の所有者に渡される。

【0248】また、上記累積ポイントを、代金の一部または全部として使用することも可能である。累積ポイントを代金の一部または全部として使用する場合、まず、その旨を店舗2の店員に告げる。店舗2の店員のPOS端末22に対する操作により、使用するポイント数あるいは全ポイントを使用する旨が入力される。

【0249】POS端末22の計算手段32は、上述のようにして、リーダライタ25により読み出された累積ポイントを取得する。そして計算手段32は、使用するポイント数が現在の累積ポイント数以上である場合には、全ポイントを使用するものとする。そして、使用するポイント数が現在の累積ポイント数より少ない場合、および、全ポイントを使用する場合には、計算手段32は、合計代金または特定の商品および／またはサービスの代金から、その使用するポイントまたは全ポイントに対応する金額を差し引く。

【0250】そして、POS端末22の計算手段32は、結果として使用されたポイントのデータを累積ポイントから減算し、減算後のポイントを累積ポイントとして、リーダライタ25によって、ICカード6Aの記憶部61に書き込ませる。

【0251】このようにして、バッグ1の広告主に関連する商品やサービスを購入／享受すると、代金の割引が受けられるとともに、後で代金の一部または全部の代わりとして使用可能なポイントが今回の代金に応じてバッグ1の所有者に対して与えられ、このポイントを累積した累積ポイントが、バッグ所有者の所有するICカード6Aに記憶される。また、複数のバッグ1を所有していても、必然的に、累積ポイントがICカード6Aにまとめて保持される。

【0252】以上のように、この実施の形態4によれば、実施の形態1～3と同様に、バッグ所有者が代金を割り引いてもらうためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、バッグ1の再利用が図られるとともに、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗2は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図

ることができる。

【0253】また、この実施の形態4によれば、実施の形態1～3と同様に、バッグ所有者が、後で代金の一部または全部として使用できるポイントを獲得するためにバッグを買物などに持ち歩き、それにより、バッグ1の再利用が図られるとともに、広告主は広告宣伝効果を期待でき、店舗2は紙袋やビニール袋などを提供する必要がなくなり、ゴミの減量化を図ることができる。

【0254】さらに、この実施の形態4によれば、商品および／またはサービスの販売または提供の際に、ICカード6Aにポイントデータを記憶させるようにしている。このように、ICカード6Aごとにポイントデータが記憶されるため、バッグ1の1つ1つに、異なるバッグIDを割り当てる必要がなくなり、バッグ1を大量生産する際のコストを低くすることができる。

【0255】なお、上記各実施の形態では、バッグ所有者がセンタ3にアクセスして自己の登録をしているが、バッグ購入時に店舗2から登録するようにしてもよい。また、実施の形態3、4においては、バッグ所有者がセンタ3にアクセスする際は、種類ごとにバッグ1に割り当てられている共通のバッグIDとICカード6（またはICカード6A）の識別情報（＝カードID）とを入力することで実施の形態1、2のバッグIDの入力の代わりとする。

【0256】また、上記実施の形態3、4では、携帯型記憶媒体としてICカード6、6Aを使用しているが、ICカード6、6Aの代わりに、磁気記録などの他の方式を利用した携帯型記憶媒体を使用するようにしてもよい。

【0257】さらに、上記各実施の形態では、バッグ1の識別子としてバーコード12を使用し、その読取手段としてスキャナ21を使用しているが、このような光学的な識別子の他、非接触型、接触型を問わず、磁気的なあるいは電気的な識別子をバッグ1に使用し、その識別子に応じた読取手段をスキャナ21の代わりに使用するようにしてもよい。

【0258】また、バーコード12として、POSシステムに使用されるバーコードをそのまま利用してもよい。その場合、新たなバーコードなどの識別子をバッグ1に付す必要がなく、コストを低くすることができる。なお、この場合、バーコード12は、各バッグ1毎に異なる番号とはならないので、バッグ1の1つ1つの識別を行おうとすると、実施の形態3、4のような携帯型記憶媒体が必要になる。

【0259】また、バッグ1の1つ1つに異なるバッグIDを付与せず、ある1つの種類のバッグには1つのバッグIDを付与し、かつ、ICカード6、6Aなどの携帯型記憶媒体を同時に使用しないシステムとしてもよい。この場合、各所有者の識別が困難になるので、ポイントの付与は行わないが、バッグ1の使用の際には、上

述の代金の割引は行うこととなる。

【0260】さらに、バッグ1に識別子を付さないようにしたり、識別子が付されていても特別な読み取り手段で読み取らないシステムとしてもよい。この場合、そのようなバッグ1の所有者が商品を購入したときには（サービスを受付したときには）、店舗2の店員は、POS端末22に、消費者がバッグ所有者である旨や、バッグ1の種類などを入力する。すると、POS端末22は、そのバッグ1の種類に対応した、広告主に関連する、あるいは広告主が直接的または間接的に指定した所定の商品またはサービスに対して記憶されている割引率および／または割引額に応じて、代金を減額する。このため、バッグ1の所有者は、そのバッグを使用して、広告主に直接的または間接的に関連する商品を購入したりサービスを受ける度、またはそのバッグ1を使用する度に上述の割引サービスを受けることができる。

【0261】さらに、上記実施の形態におけるバッグ1の様子は、図2に示すものに限定されず、そのデザイン、広告11の位置や大きさ、バーコード12などの識別子の位置なども図2に示すものに特に限定されるものではない。

【0262】さらに、店舗2で販売した商品の、製造者ごとの売上情報などをセンタ3に送信し、センタ3で集中管理するようにしてもよい。

【0263】

【発明の効果】本発明では、消費者、商品の製造者、店舗経営者などへの負担が単に増すことなく、消費者への紙袋やビニール袋などのバッグの再利用を図ることができ、ゴミの減量化に貢献する販売システムおよび販売方法を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態1に係る販売システムの構成を示すブロック図である。

【図2】 図1の販売システムにおけるバッグの一例を示す斜視図である。

【図3】 図1の販売システムにおいて使用される店舗におけるPOS端末の記憶手段に予め記憶された、割引率の設定されたバッグID、その割引率が設定されている商品および／またはサービス、およびその割引率の一覧の例を示す図である。

【図4】 図1の販売システムにおけるセンタのサーバのトップページの一例を示す図である。

【図5】 図1の販売システムにおいて、バッグの所有者をセンタのデータベースに初期登録する際のページの一例を示す図である。

【図6】 図1の販売システムにおけるセンタのデータベースに登録された所有者名などとバッグIDおよび累積ポイントとの対応関係の一例を示す図である。

【図7】 図1の販売システムにおいてバッグの追加をセンタのデータベースに対して行う際のページの一例を

示す図である。

【図8】 図1の販売システムにおいてバッグの登録抹消をセンタのデータベースに対して行う際のページの一例を示す図である。

【図9】 図1の販売システムにおいてポイント確認をセンタのデータベースに対して行う際のページの一例を示す図である。

【図10】 図9において送信ボタンをクリックした後に表示される、各バッグについての累積ポイントの一覧および累積ポイントの合計の表示例を示す図である。

【図11】 図1の販売システムにおいてポイント振り替いをセンタのデータベースに対して行う際のページの一例を示す図である。

【図12】 図1の販売システムにおいてオンラインショップを行う際のページの一例を示す図である。

【図13】 本発明の実施の形態3に係る販売システムの構成を示すブロック図である。

【図14】 図13の実施の形態3における店舗に配置されるPOS端末の記憶手段に予め記憶された、割引率の設定されたバッグID、その割引率が設定されている商品および/またはサービス、およびその割引率の一覧の例を示す図である。

【図15】 図13の販売システムにおいて、センタのデータベースに記憶された識別情報およびその識別情報

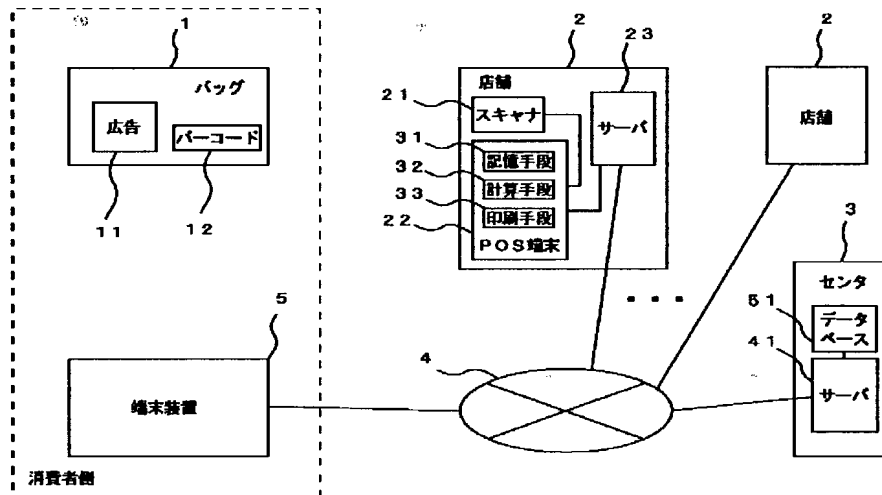
に関連付けられて記憶された累積ポイントデータの例を示す図である。

【図16】 本発明の実施の形態4に係る販売システムの構成を示すブロック図である。

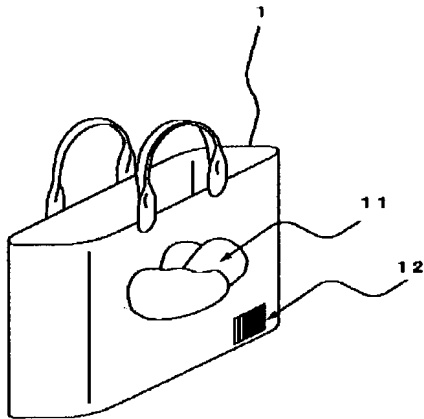
【符号の説明】

- 1 バッグ
- 2 店舗
- 3 センタ
- 4 ネットワーク
- 5 端末装置（呈示手段）
- 6, 6A ICカード（携帯型記憶媒体）
- 11 広告
- 12 バーコード（固有の識別子）
- 21 スキャナ（読取手段）
- 23 サーバ（送信手段）
- 24 リーダ
- 25 リーダライタ
- 31 記憶手段
- 32 計算手段
- 33 印刷手段
- 41 サーバ（第2の計算手段、呈示手段、登録手段、ポイントデータ送信手段）
- 51 データベース（得点記憶手段）
- 61 記憶部（得点記憶手段）

【図1】



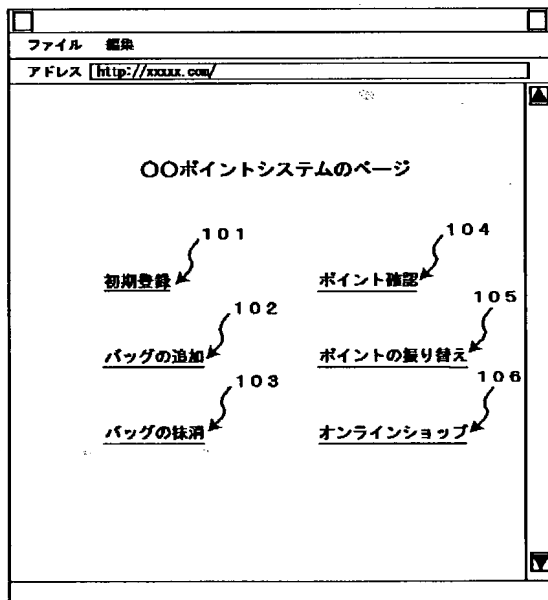
【図2】



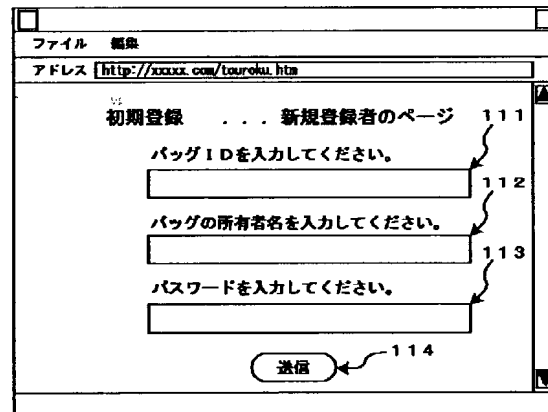
【図3】

バッグID	商品ID	割引率
AAA10001~AAA59999	E7482	2%
	E7483	3%
	E7484	2%
	E7485	2%
XXX10001~XXX99999	J6026	3%
	J6027	3%
YY200001~YY400000	H5198	1%
	H5199	3%
•	•	•
•	•	•
•	•	•
Z3400001~Z3499999	SU291	1%
	SU292	1%
	SU293	1%

【図4】



【図5】



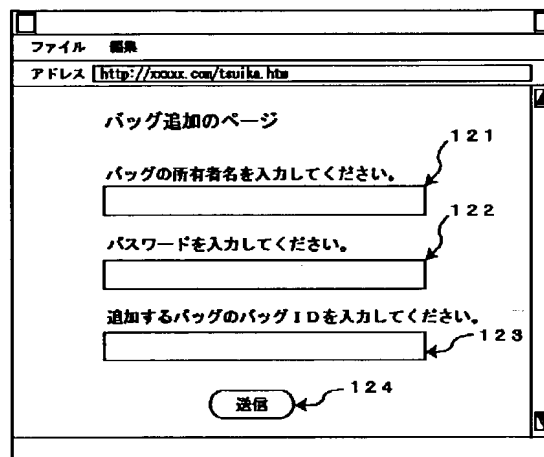
【図15】

識別情報	累積ポイント
2b8k12f5	952
4dc63v8	3072
...	...
...	...
...	...
...	...

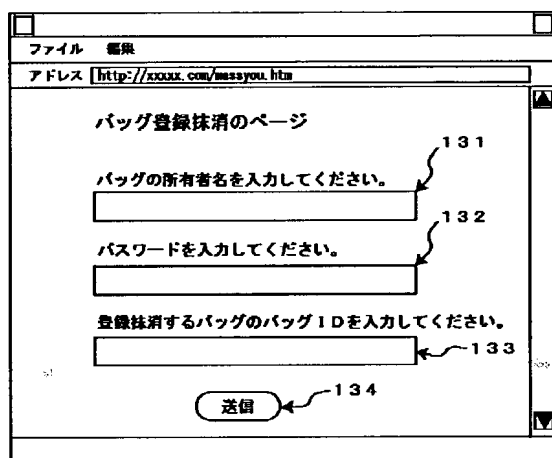
【图7】

所有者名	パスワード	バッグ数
〇〇xx	a0blrk	3
● ● ●	● ● ●	● ● ●
● ● ●	● ● ●	● ● ●
● ● ●	● ● ●	● ● ●
● ● ●	● ● ●	● ● ●
● ● ●	● ● ●	● ● ●

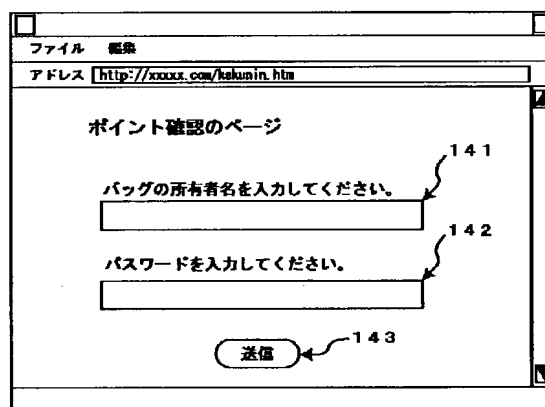
バッグID	累積ポイント
AAA10011	1050
● ● ●	● ● ●
● ● ●	● ● ●
YY200005	55
● ● ●	● ● ●
● ● ●	● ● ●
● ● ●	● ● ●
● ● ●	● ● ●
X0025561	43



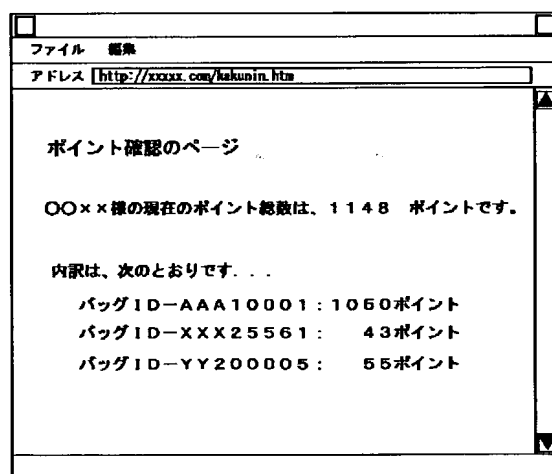
【図8】



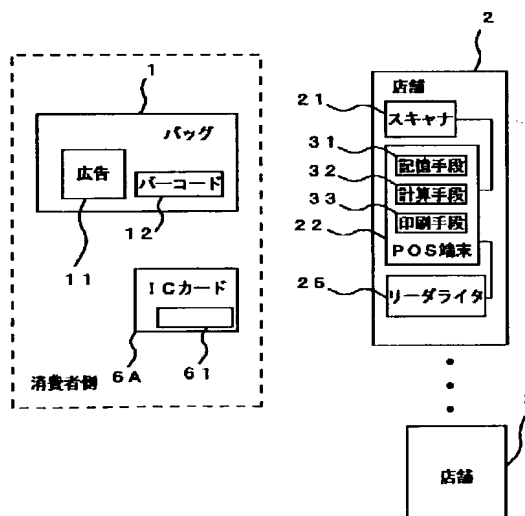
【図9】



【図10】



【例 16】



【図11】

ファイル 編集
アドレス <http://xxxx.com/furikae.htm>

ポイント振替のページ

151
バッグの所有者名を入力してください。

152
パスワードを入力してください。

153
振替えるポイント数を入力してください。

154
振替元のバッグIDを入力してください。

155
振替先のバッグIDを入力してください。

156
送信

【図12】

ファイル 編集
アドレス <http://xxxx.com/shop.htm>

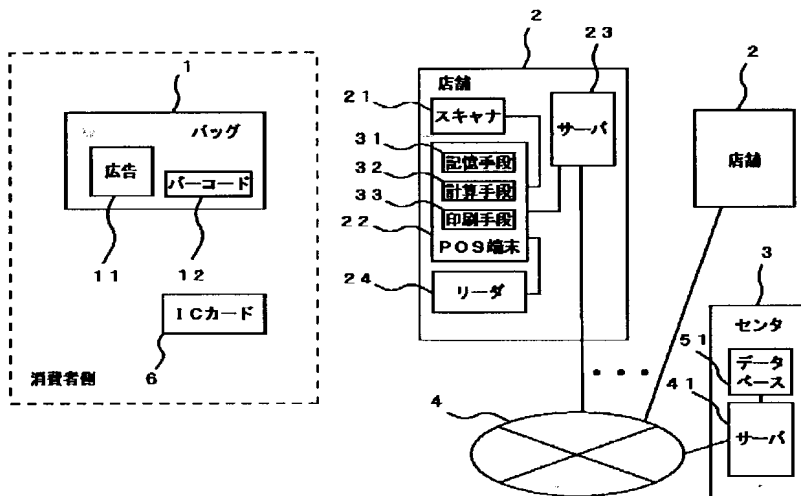
オンラインショップ

10000ポイント 5000ポイント 3000ポイント

1000ポイント

161
162

【図13】



【図14】

バッグID	商品ID	割引率
A0001	E7482	2%
	E7483	3%
	E7484	2%
	E7485	2%
XX011	J6026	3%
	J6027	3%
YY200	H5198	1%
	H5199	3%
Z3400	SU291	1%
	SU292	1%
	SU293	1%

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

G07G 1/00
1/12

識別記号

311
321

FI

G07G 1/00
1/12

テマコード(参考)

311E
321M

(72)発明者 古谷 雄啓

東京都渋谷区神泉町7丁目10番富士ビル
301号

Fターム(参考) 3E042 AA01 CA02 CC04 EA01